

令和元年度の目標達成状況 (KPIシート)

・ 数値目標(P)に対する客観的評価の方法	1	ページ
・ 令和元年度 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧	2	ページ
・ 令和元年度 推進分野別部会『各事業』の評価一覧	3	ページ
・ 農業部会	4 ~ 10	ページ
・ 林業部会	11 ~ 13	ページ
・ 水産業部会	14 ~ 16	ページ
・ 商業部会	17 ~ 19	ページ
・ 工業部会	20 ~ 22	ページ
・ 観光部会	23 ~ 28	ページ
・ サイクリング専門委員会	29 ~ 32	ページ
・ 住宅部会	33 ~ 35	ページ

数値目標(P)に対する客観的評価の方法

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下の4段階評価を実施。

区分	評価基準	
A	令和元年度の数値目標と実績値を比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、又は状況を改善できたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標を達成したもの → 達成率 100%以上 ・数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成したもの
B		<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標をほぼ達成したもの → 達成率 60%以上100%未満 ・数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標をほぼ達成したもの
C		<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の達成にむけて十分な進展が見られなかったもの → 達成率 60%未満 ・数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成できなかったもの または進展・改善が見られなかったもの
-		<ul style="list-style-type: none"> ・年度の到達目標値が「0」、又は、令和元年度未着手のため達成状況が図れないもの

◆ 令和元年度 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧

【農業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (5か年)	達成 (達成度合)	備考
新規就農者数 (人)	目標値	10	10	12	12	15	59	B	【根拠数値】 高知県中央東農業振興センター調べ (6月2日～翌年6月1日の数)
	実績値	17	14	7	9	9	56		
	達成 (評価)	A	A	C	B	B		94.9%	

【林業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (5か年)	達成 (達成度合)	備考
林業境界明確化面積 (ha)	目標値	100	100	250	420	600	600	C	・目標値、実績値は累積面積。 ・実績値の()の数字は、その年度 に実施した面積。
	実績値 (年度実施 面積)	97.4 (97.40)	97.4 (0)	97.4 (0)	120.11 (22.71)	146.34 (26.23)	146.34		
	達成 (評価)	B	C	C	C	C		24.4%	

【水産業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (5か年)	達成 (達成度合)	備考
沿岸漁業総生産量 (t)	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	B	【根拠数値】 ・H27～29 三港(手結・赤岡・吉川) ・H30～令和元年度 三港及び民間事業者1社の生産量 ※H30 三港→1,057t
	実績値	1,086	693	839	1,119	1,298	5,035		
	達成 (評価)	B	C	B	B	A		83.9%	

【商工業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (5か年)	達成 (達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円以上)	目標値	500	500	500	500	500	2,500	B	【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2 月末に公表されるため、実績値は、調 査の対象期間の関係で、前年の製造品 出荷額を記載。
	実績値	419	396	371	401	344	1,931		
	達成 (評価)	B	B	B	B	B		77.2%	

【観光分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (5か年)	達成 (達成度合)	備考
観光施設入込客数 (万人以上/暦年)	目標値	100	100	120	120	120	560	B	【根拠数値】 ・実績値は暦年(1月-12月) ・対象施設11か所 (R元年度) ①のいち動物公園・・・188,386 ②月見山こどもの森・・・23,427 ③ヤ・シイパーク・・・326,404 ④絵金蔵・・・8,757 ⑤香南市サイクリングターミナル (宿泊者以外)・・・2,106 ⑥天然色市場・・・0 ⑦やすらぎ市・・・207,896 ⑧あぐりのさと・・・18,278 ⑨黒潮温泉・・・110,921 ⑩アクトランド・・・90,473 ⑪土佐カントリークラブ・・・69,005
	実績値	100.3	104.7	107.7	106.2	104.5	523.4		
	達成 (評価)	A	A	B	B	B		93.5%	

【サイクリング分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (4か年)	達成 (達成度合)	備考
レンタサイクル 利用者数 (人/年)	目標値	-	1,000	1,800	2,100	2,300	7,200	A	【根拠数値】 ・対象施設3か所の貸出数 ①香南市サイクリングターミナル ②のいち駅 ③創造広場「アクトランド」
	実績値	-	1,714	2,060	2,156	2,371	8,301		
	達成 (評価)	-	A	A	A	A		115.3%	

◆ 令和元年度 推進分野別部会『各事業』の評価一覧

分野名	各取組 合計	A評価	B評価	C評価	未評価
農業分野	22	10	8	4	0
林業分野	15	6	1	7	1
水産業分野	7	4	2	1	0
商業分野	10	2	2	4	2
工業分野	12	4	1	6	1
観光分野	14	4	5	4	1
サイクリング	16	5	1	10	0
住宅分野	10	3	4	3	0
合計	106	38	24	39	5

令和元年度の取組実績

【農業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(※)	第1期達成(達成度合)	備考
新規就農者数(人)	目標値	10	10	12	12	15	59	B	【根拠数値】 高知県中央東農業振興センター調べ (6月2日～翌年6月1日の数)
	実績値	17	14	7	9	9	56		
	達成(評価)	A	A	C	B	B		94.9%	

■取り組みの評価(総評)

※: 5か年の目標値累計と実績値累計

【R元年度の取組についての総評】

R元年度の就農相談は23件であり、そのうち就農に繋がる可能性のある相談は8件程度であった。
新規就農者獲得に向け、広報による発信や県等が主催するイベント等に参加し、香南市の農業の現状や就農支援等について周知を図ってきた。
また、国の制度変更による就農のための補助金の対象年齢を45歳から50歳に引き上げる等の対応や就農後の園芸用ハウスの建設費用も高額であることや労働力の確保も厳しい状況であることも説明する必要があり、説明時に就農を安易に考えている方や今後のビジョンが無い方も多く居たことから数値目標の達成には至らなかった。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値									
基盤整備・防災	◆農業生産基盤の充実(県防災減災事業)										
		1. 防災施設対策整備の実施【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
		(H27) - (H28) 黒谷ため池(測量設計) (H29) 黒谷ため池(測量設計) (H30) 黒谷ため池(改修工事)1か所 (R元) 黒谷ため池(改修工事)	目標値	-	1	1	1	1	3	A	本改修工事は完成。 R2年度に仮設撤去のみとし県との調整を図りながらR2年度の完了を目指す。
		【当初事業内容】 本改修工事の完成に向け県との実施調整を行いながら、本年度内の工事完了を目指す。	実績値	-	0	1	1	1	3		
		【R元年度の取組内容】 黒谷ため池改修工事 R2年3月完成 (R2仮設撤去のみ)	達成(評価)(C)	-	C	A	A	A			
		事業内容(D・C)									
		2. 排水機場施設整備【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
		(H27) 江見・吉原排水機場 (H28) 吉原排水機場 (H29) 吉原排水機場 (H30) 吉原排水機場(ポンプ及び電気工事)1箇所 (R元) 吉原排水機場(ポンプ及び電気工事) 千切排水機場 計2箇所	目標値	2	1	1	1	2	4	A	本改修工事の完成に向け県との実施調整を行いながら、工事完了を目指す。
		【当初事業内容】 県と実施調整を密に行いながら早期完了を目指す。	実績値	1	0	1	0	2	4		
		【R元年度の取組内容】 (吉原排水機場) ・電気設備工事の実施1部完成 (千切排水機場) ・ポンプ設備整備の実施1部完成	達成(評価)(C)	C	C	A	C	A			
		事業内容(D・C)									
		3. 地域農業水利施設事業【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
		(H27・28) 烏川・香宗川・山北川流域堰整備事業	目標値	3	3	2	2	2	5	A	R元年度にて事業完了
		(H29) 烏川統合堰・総合堰の改修工事 (H30) 烏川統合堰・総合堰の改修工事 (R元) 烏川統合堰・総合堰(改修工事) 計2箇所	実績値	0	1	1	1	2	5		
		【当初事業内容】 県と実施調整を密に行いながら早期完了を目指す。	達成(評価)(C)	-	C	C	C	A			
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 烏川総合堰改修工事 令和2年3月完成								
	4. 農業水利施設保全合理化事業【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27・28) 物部川統合堰(幹線水路調査) (H29) 同上(機能診断調査) (H30) 機能診断保全計画書作成 (R元) 南国・香美・香南を含む物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成。	目標値	1	1	1	1	計画書の作成	4	B	本改修工事の完成に向け施設管理者との実施調整を行いながら、測量設計と工事の完了を目指す。	
	【当初事業内容】 南国・香美・香南を含む物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成。 本年度に計画書を作成し、採択に向け調整しているが本年度内の着手は困難な状況のため令和2年度事業採択に向け進める。	実績値	1	1	1	0	作成	3			
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 南国・香美・香南を含む物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成済	達成(評価)(C)	A	A	A	C	A			

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値	実績値									A/B/C
基盤整備・防災	○具体的な取組(P)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	5.農地耕作条件改善事業(頭首工) 【箇所数】		目標値	1	—	3	2	2	3	A	東佐古地区及び中ノ村地区において、県ならびに地元関係者と調整を行いながら、継続して事業を実施する。	
	(H27)岩田堰袋体据付 (H28) — (H29)曾我井川堰、烏川1号堰・3号堰 (H30) 門田堰・東佐古用排水路(測量設計) (R元)門田堰・東佐古用排水路 計2箇所		実績値	1	—	0	2	2	3			
	【当初事業内容】 県及び地元実施調整を図りながら頭首工及び用排水路工事完了を目指す。		達成(評価)(C)	A	—	C	A	A				
	【R元年度の取組内容】 ・門田堰 : R2年2月 袋体据付に係る土木工事完成、同3月 袋体製作・設置工事完成 ・東佐古用排水路 : R元年12月 測量設計業務完了、令和2年3月 基幹水路改修工事完成		事業内容(D・C)									
	6.土地改良施設維持管理適正化事業 【箇所数】		目標値	—	—	1	1	2	4	B	H29年度からR元年度までの3年間で実施し事業終了。	
	(H27) — (H28) — (H29)西部排水機場除塵機修繕 (H30)小林堰(ゴム体修繕工事) (R元)竹ノ内堰(ゴム体修繕工事) 計2箇所		実績値	—	—	1	1	1	3			
	【当初事業内容】 管理者との実施調整を図りながら工事完了を目指す。		達成(評価)(C)	—	—	A	A	B				
	【R元年度の取組内容】 竹ノ内堰 : R2年3月 ゴム袋体修繕工事完成		事業内容(D・C)									
	7.工業用水道整備事業 (水路・道路等整備) 【件数】		目標値	水路4 道路1	水路2	水路2 道路1	水路3 道路1	水路1 道路1	水路11 道路4	A	工業用水整備で要望の上がっている箇所について継続して進めており、地元関係者と協議調整を行いながら、継続して事業を実施する。	
	(H27)4路線、西中筋6水路工事1路線 (H28)水路2路線 (H29)水路2路線、道路1路線 (H30) 水路3件 〈西中筋7水路・中組南11水路 ・中組南18水路〉 道路1件 〈ナノ丸1号線道路〉 (R元)水路1件〈中組南18水路〉 道路1件〈ナノ丸1号線道路〉		実績値	水路4 道路1	水路2	水路2 道路1	水路2 道路1	水路1 道路1	水路11 道路4			
	【当初事業内容】 要望箇所の早期竣工に向け地元調整を図りながら工事完成を目指す。		達成(評価)(C)	A	A	A	B	A				
【R元年度の取組内容】 水路1件〈中組南18水路〉R元年度予算調整に伴い全路線の1部完成。 道路1件〈ナノ丸1号線道路〉道路用地等の調整のため全路線の1部完成。		事業内容(D・C)										
8.農業集落排水整備 (上岡地区集落道改良工事) 【件数】		目標値	2	2	2	2	2	10	B	上岡地区で要望の上がっている箇所について、地元関係者と協議調整を行いながら、継続して事業を実施する。		
(H27)水路工事 (H28)同上 (H29)同上(16・17水路) (H30)8水路・16水路 (R元)4水路・14水路 計2件		実績値	2	2	2	2	1	9				
【当初事業内容】 地元協議を図りながら要望箇所の早期竣工を目指す。 次年度に向け測量設計の発注計画を進めていく。		達成(評価)(C)	A	A	A	A	B					
【R元年度の取組内容】 5・14-2水路改修工事 : 入札不調により十分な工期の確保が難しいため次年度工事へ。 9道路拡幅改修測量設計委託業務 : R2.2契約 ▶ R2.5末工期で現在作業中。		事業内容(D・C)										
◆防災への対策												
1.重油流出防止付装置燃料タンク整備事業 (重油タンクの流出防止対策) 【各タンク等設置数】		目標値	19	27	21	26	26	119	B	これまで取り組んできた市やJAの広報で周知を継続し、タンク保有者には整備の推進を促す書面を直接送付するなど、積極的に周知を図っていく。		
(H27)タンク (H28)タンク (H29)タンク・防油堤・ヒートポンプ 計21 (H30)タンク・防油堤・ヒートポンプ 計26 (R元)タンク・防油堤・ヒートポンプ 計26		実績値	19	21	17	19	9	85				
【当初事業内容】 県の補助金が30年度終了するということがあったが、継続することとなったため、再び未設置の農家に周知を図り、設置率を上げていく。		達成(評価)(C)	A	B	B	B	C					
【R元年度の取組内容】 JA高知県香美地区主催の説明会に参加して当事業についての説明を行い、積極的に周知を図ったが、個人負担の資金難もあることから目標値に届かなかった。		事業内容(D・C)										

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値								A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値										
経営改善・担い手	◆担い手対策の促進											
	1.担い手育成センター研修支援事業 【補助金支給人数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27)－ (H28)－ (H29)担い手育成センター研修費補助金 (H30)担い手育成センター研修費補助金 (R元)担い手育成センター研修費補助金		目標値	－	－	10	10	10	30	C	これまで取り組んできた広報等での周知を継続し、将来的な就農者の確保も視野に新規就農者の育成を図る。 就農相談時に担い手育成センターに入校するように推進し、農業の基礎知識をつけていただけるように促していく取組を行う。	
	【当初事業内容】 これまで取り組んできた広報等での周知を継続し、将来的な就農者の確保も視野に新規就農者の育成を図る。就農相談時に担い手育成センターに入校するように推進し、農業の基礎知識をつけていただけるように促していく取組を行う。		実績値	－	－	4	2	2	8			
			達成(評価)(C)	－	－	C	C	C				
			事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 広報や県主催のイベント等に参加し周知を行った。年間の相談件数は23件あったが、そのうち就農に繋がる件数は8件あった。 就農相談でも今後のビジョンがない方が多いため、直ぐには就農に繋がらず担い手育成センターへ行くまでには至っていない。								
	2.新規就農推進事業 【利用人数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27)新規就農研修事業 (H28)研修・親元就農支援事業 (H29)新規就農推進事業 7人 ①親元就農応援区分 ②専業農家育成区分 (H30)新規就農推進事業 7人 ①親元就農応援区分 ②専業農家育成区分 (R元)新規就農推進事業 7人 ①親元就農応援区分 ②専業農家育成区分		目標値	4人	4人	①3人 ②4人	①3人 ②4人	①3人 ②4人	①9人 ②20人	①C ②B	東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」「高知農に就くフェア」等への参加。新規就農に繋がるイベント等に参加する。	
	【当初事業内容】 東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」「高知農に就くフェア」等への参加に加え、平成30年度から始めた高知市のイオンモールでもPR活動を実施予定。 東京・大阪で行われる「高知暮らしフェア」へ参加し、周知拡大を図る。		実績値	2人	3人	①3人 ②1人	①0人 ②4人	①2人 ②3人	①5人 ②13人			
			達成(評価)(C)	C	B	A C	C A	B B				
			事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」「高知暮らしフェア」等への参加に加え、高知市のイオンモールでもPR活動を実施し周知拡大を図ったが、事業の対象となる要件を満せない方も居たため目標数値に届かなかった。								
	3.農業次世代人材投資事業 【人数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
(H27)青年就農給付金事業 (H28)青年就農給付金事業 (H29)経営開始型支給数 (H30)同上 (R元)経営開始型 10人支給(延べ数) ※新規 3人		目標値	10	10	8	10	10	48	B	産地提案書を基に広報やJA高知県香美支部、高知県農業振興推進センターと連携し、周知を図る。		
【当初事業内容】 産地提案書を基に広報やJA高知県香美支部、高知県農業振興推進センターと連携し、周知を図っていく。		実績値	2	0	16	13	8	39				
		達成(評価)(C)	C	C	A	A	B					
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 R元年度は新規者3人の獲得と継続を合わせた10人を目標とし、東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」「高知暮らしフェア」等への参加に加え、高知市のイオンモールでのPR活動等周知拡大やJAや中央東振興センターの職員と巡回を行い、栽培や経営のサポートを行ってきたが、実績は新規者0人となり、継続者のみの8人となった。									
4.農業後継者推進事業 【支給人数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
(H27)－ (H28)農業後継者 (H29)同上 (H30)同上 (R元)同上		目標値	－	15	15	15	15	60	B	JA高知県香美支部、高知県農業振興推進センターと連携し、情報収集を図る。 新規就農につながる周知の実施。		
【当初事業内容】 H30年度末で11名の給付が終了した。 目標値を達成するために引き続きPRを行い、新規就農者の獲得につながる周知の実施する。		実績値	－	10	13	15	7	45				
		達成(評価)(C)	－	B	B	A	C					
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 JAや高知県農業振興センターと連携をとりながら、親元で就農する者の情報を集めてきたが有力な情報が得られなかった。また、経営体の所得が多かったため、対象とならない方も居た。 この補助は期間が2年で終わることから、H30年度で補助が終わった者が11人であった。 R元年度は継続者は4人となり、また、R元年度の新規者は3人であったことから、合わせて7人とどまった。 なお、新規就農者にはJA、中央東振興センターの職員と巡回を行い、栽培や経営のサポートを行ってきた。									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値	実績値								
	5.実践型研修ハウス整備事業 【ハウス面積(a)】 (H27) - (H28) - (H29)ハウス設置に向けた取組 (H30)ハウス面積30a(10a×3棟)の建設 (R元) ハウス面積30a(10a×3棟)の建設 【当初事業内容】 ハウス面積30a(10a×3棟)の建設 円滑な管理運営をしていく。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 研修ハウス6棟のうち3棟の作業小屋が完成した。 残りのハウス3棟にも作業小屋を建築し、研修生の収穫後の作業等などが円滑に進むよう整備を行っていく。	
		目標値	-	-	30	30	30	60	A		
		実績値	-	-	0	30	30	60			
		達成(評価)(C)	-	-	C	A	A				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 予定通り30a(10a×3棟)のハウスが完成した。 前年度に建設した3棟のハウスの反省点を踏まえ、水平カーテンを取り入れるなどして、先進化も図った。 また、付属する作業小屋もR2年5月に完成する予定(3棟)であり、就農者の作業場整備も行った。										
	6-1.地域活性化対策事業 【-】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 山北みらい(山北モデル)の運営に向けた調整・整備 【当初事業内容】 H31.3.14に行政・民間の垣根を越えた「協定の締結」を行い、繁忙期の農業従事人員不足の解消を図る準備を実施。 今後山北みらいとの連携を行い、事業実施に向けた協議を進めていく。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 運営体制の確立支援や連携事業の実施 1. 販売事業推進に係る支援。 2. 観光事業の連携やイベント委託による産地PR及び担い手確保の推進。 3. 施設整備に関する補助金活用等の再検討。仮押え車庫の整備による活用等。	
		目標値	-	-	-	-	整備	-	-		
		実績値	-	-	-	-	整備	-			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	A				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 【1】生産者部会「JA香美地区果樹部露地みかん部会」「同果樹部女性部会」の各総会にて出資承認。包括協定者「(株)ものべみらい」を合わせた3者が出資。6/7新会社「(株)山北みらい」設立。 【2】会社の運営方針や実施内容について ○販売事業 みかん青果においては東北地方と近畿地方のスーパーマーケット(計、約20店舗展開)との提携販売や仲卸業者、運送会社について目処が立った。 ○観光事業 物部川DMO等と連携し、7/7、11/17に収穫体験モニターツアー実施。 ○補助金活用による施設整備等<高知県産業振興推進総合支援事業費補助金(香南市同補助金)> 7/23 ①ステップアップ事業(商談旅費やパソコン購入費等の支援)、②一般事業(事務所、作業場、加工場等の施設整備)の活用、③2月フォローアップ会議→地域アクションプランを予定していたが、8/22、11/15等、県・市・会社での協議の結果、元年度は補助金活用等は見送ることとなった。 作業場については、建設課香我美庁舎車庫を仮押え(R2年度、建設課の新庁舎移転後) 【3】その他調整・整備の取組 ○山北みらい 土地利用権設定 - 4名、計17筆、約15,000㎡ (山北みらいの収益向上及び担い手育成農地、協力隊任期後の就農地確保等のため)										
	6-2.地域活性化対策事業 【雇用者数】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 地域おこし協力隊の雇用(新規) 【当初事業内容】 農業担い手候補生2名、同研修生1名を増員し、就農者の獲得を図る。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 担い手候補生が独立自営したときに使用できる圃場を、山北みらいと連携して確保しつつ研修を進めてもらう。そのことにより耕作放棄地の減少にも繋げていく。 令和2年度末に在籍する協力隊員のうち、2名が任期終了(6次産業担当1名がR3.3月末、農業研修生1名がR3.4月末)在籍者の任期後就農を推進し、実績成果に基づく新規任用を進める。	
		目標値	-	-	-	-	3	3	B		
		実績値	-	-	-	-	2	2			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	B				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 農業担い手候補生として1人、農業全般の研修生として1人を確保した。 担い手候補生は主にみかん農家となるための研修を行っており、順調に技術を習得し独立自営を目指している。また、研修生は今後の品目を選定するために、様々な品目を研修中である。 ・R元年度の任用(雇用)予定者3人のうち、2人任用。 (6月任用予定であった担い手候補生1人は家庭の事情で辞退) ・追加募集での任用は、在籍協力隊員の就農実績から判断し、R3年度から新規任用見込みとした。										
経営改善・担い手	◆経営の改善への対応										
	1.園芸用ハウス整備事業 【利用件数】 (H27)園芸ハウス整備/復旧支援事業 (H28)園芸用ハウス (H29)①中古 ②新規ハウス整備 (H30)中古・新規ハウス整備 (R元)同上 【当初事業内容】 JA高知県 香美支部、振興センターと連携し、事業を円滑に進めて行く。 また、各広報誌や郵送物に案内を入れるなどして周知を図る。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 JA高知県香美支所、振興センターと連携し、事業を円滑に進めていく。 また、各広報誌等で、引き続き制度の周知を行い利用件数の増加を図る。	
		目標値	8	12	15	19	19	73	B		
		実績値	4	9	13	13	10	49			
達成(評価)(C)		C	B	B	B	C					
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 香南市広報への掲載による制度の周知や、JA高知県香美地区主催の説明会に参加して当事業についての説明を行ってきたが、見積書を作成した際に自己負担想定額と実際の総事業費との乖離から年度途中で事業を中止する案件が多かった。 また、年度途中で申請を希望する事業者がいたが、前年度に要望調査を行っているため申請することができなかった。										

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】			
		事業名称	目標値						A/B/C				
経営改善・担い手	○具体的な取組(P)	実績値								【令和2年度の取組内容】			
	2.経営所得安定対策推進事業【利用件数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)				
	(H27)戸数/面積 2,901戸/1,089ha (H28)主食用米 715ha/育料用米 68ha ⇒主食用米 526ha/育料用米 42ha (H29)利用件数 (H30)同上 (R元)同上	目標値	-	-	1,000	1,000	750	2,750	B		引き続き、産地の維持・発展に向けた制度の周知・推進を図るとともに、需要に応じた米生産の推進を図る。		
	【当初事業内容】 H30年度より米作のみの農家が対象外となったことから、件数を変更。引き続き周知を図り、事業の推進に努める。	実績値	-	-	1,117	741	705	2,563					
		達成(評価)(C)	-	-	A	B	B						
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 管内農業者に制度の周知推進を図り、食料自給率の向上に向けた水田の有効活用により、地域の推進作物を中心とした作物の生産拡大に取り組みながら、産地の維持・発展に向けた取り組みを行ってきた。また、米の需要量に関する情報に基づき、各農業者の生産数量及び面積の目安を策定・配分し、需要に応じた米の供給を推進した。											
	3.農地中間管理事業【利用件数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)				
	(H27~30)利用件数 (R元) 同上	目標値	5	5	5	5	5	25	A			関係機関と連携をし、耕作放棄地の解消を図る。また、認定農業者については案内文の送付や連絡協議会での担当者説明を実施予定。認定農業者外の農家については、広報などで周知を行う。	
	【当初事業内容】 関係機関と連携をし、耕作放棄地の解消を図る。また、認定農業者については案内文の送付や連絡協議会での担当者説明を実施予定。認定農業者外の農家については、広報などで周知を行う。	実績値	2	5	4	7	7	25					
		達成(評価)(C)	C	A	B	A	A						
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 年に1度、認定農業者全員に中間管理機構の案内文を送付し推進に努めた。											
	4.環境制御技術導入普及促進事業【利用件数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)				
	(H27)環境制御技術導入加速化事業 (H28)環境制御技術導入促進事業 (H29)利用件数 (H30)同上 (R元) 同上	目標値	34	37	26	19	19	135	A				JA及び市場等を通じて要望を取りまとめ、炭酸ガス発生装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行う。このことにより収穫量及び販売額の向上を図る。 R2:環境制御装置 25施設
	【当初事業内容】 県の補助金はH30年度終了する予定であったが、要望などにより継続することとなったため、再び普及に取り組んでいく。	実績値	34	17	27	43	16	137					
		達成(評価)(C)	A	C	A	A	B						
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 環境制御技術導入 16件 (環境測定装置・炭酸ガス発生機・濃度コントローラー・ダクトファン・日射比例・統合環境制御・湿度管理・LED照明・電解水素水) 以上の取組により、施設園芸農家の収入増加を図ることができた。												
5.産地パワーアップ事業【箇所数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)					
(H27) - (H28)ニラそぐり機、低コスト耐候性ハウス →ニラ25件、ハウス3件 (H29)ニラそぐり機15件・ 低コスト耐候性ハウス5件 →ニラ20件、ハウス5件 (H30)環境制御15件、結束機10機、 そぐり機20機、ハウス資材 3件 (R元) 利用件数の増加 30件 ・環境制御 15件 ・結束機 2機 ・そぐり機 10機 ・ハウス資材 3件	目標値	-	-	20	48	30	98	B	産地の高収益化に向けた低コスト耐候性ハウスや環境制御装置を導入して、全国一のニラ生産地を総合的に支援する。このことにより収穫量及び販売額の向上を図る。 R2:そぐり機 5件 環境制御装置 25件				
【当初事業内容】 県の補助金はH30年度終了する予定であったが、要望などにより継続することとなったため、再び普及に取り組んでいく。なお、H30年度は駆け込み需要を見込み、目標数値を上げたが、継続が決まったことから、下方修正とする。	実績値	-	28	25	23	21	69						
	達成(評価)(C)	-	-	A	C	B	累計はH29-R元の数						
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 21件(そぐり機、結束機、自動開閉装置、加温機、環境制御、低コスト耐候性ハウス) 以上、産地の高収益化に向けた取り組みを実施することにより、生産体制の強化が図られた。												

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】		
	事業名称	目標値								A/B/C			
	○具体的な取組(P)	実績値											
経営改善・担い手	◆農産物のブランド化の推進と加工品の開発												
	1.農山漁村振興交付金事業 (6次産業化の取組によるビジネスづくり) 【個数】 (H27)産業振興推進総合支援事業費【販売額】①メロン ②ニラ (H28)次世代型ハウス・農業クラスター促進事業【クラスター整備数】 (H29)新規商品開発【件数】 ・山北みかんバター ・山北みかんかき氷 (H30)○新商品販売開始数 1件 ○既存商品販売個数 ・山北みかんバター 3,000個 ・山北みかんかき氷 300個 (R元)○新商品販売開始数 1件 ○既存商品販売個数 ・山北みかんバター 3,000個 ・山北みかんかき氷 300個 【当初事業内容】 前年度まで進めてきた取組を前進させるため、新たな商品の開発を行い、ビジネスの向上に努める。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】			
		目標値	-	1件	1件	①1件 ②A3,000個 B 300個	①1件 ②A3,000個 B 300個	新商品 3	A	山北みかん産地の再構築に係る取組として、山北みかんの産地をPRする公式ホームページを作成する。また、地産外商の推進に係る取組として、現地体験ツアーを実施する。その他、山北みかんこもれびマルシェの連携運営等を行う。			
		実績値	メロン 406,113千円 ニラ 1,100,247千円	1件	5件 (うち2件を販売開始)	①1件 ②A 5,342 個 B 380個	①2件 ②A4,941個 B 370個	新商品 3					
達成(評価)(C)		-	A	A	A	A							
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 1. 加工品テストマーケティング(小瓶ジュース、ゼリー2種類) 2. 加工品パッケージラベル(バター3種類)や梱包箱の作成(山北みかんジュース)バター(3種類)のパッケージ制作やジュース・青果の発送用梱包箱の制作費を交付金から支出・支援。 また、JA果樹部女性部のバター等製造にあたり、香我美保健福祉センター栄養指導室の使用を許可。 加工経費や夏場の作業負担軽減等による農業者の所得向上及び新規雇用・関係人口の増加につながる取組み。 3. 販売個数について ①新商品販売開始数 2件(山北レモン塩バター90個、ペッパーバター80個) ※マーケティング販売を開始 ②既存商品販売個数 ・山北みかんバター(大)3,386個、(小)1,555個 ・山北みかんかき氷 370個 4. 各種イベント開催・出店等による山北みかんやその加工品の販売補助や産地PR活動 「山北みかんこもれびマルシェ 2019」「ふるさとチョイス大感謝祭 2019」「高知まんなかツアー」「物部川DMO 収穫体験モニターツアー」「ふるさとまつり(鏡川周辺)」「第14回香南ふれあいまつり」「山北みかんブランディング促進委託業務」による主催イベント『YAMAKITA MIKAN展』を東京両国にて開催。 「しよいか〜ご(JA千葉県2店舗)」等												
経営改善・担い手	◆消費者の安全安心志向への対応												
	1.地産地消推進協議会補助事業 【%】 (H27) - (H28)学校給食への市内産野菜(主要品目)の使用率 (H29)同上 (H30)同上 (R元)同上 【当初事業内容】 本年度は4月より「にんじんの供給」を開始。今後さらに新たに使用できる品目の計画を立て、学校給食への供給を推進する。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(延べ)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】			
		目標値	-	37	37	38	39	39	B	昨年度は新たに納品を開始した食材の供給体制、品質の確保を行う。今後さらに新たに使用できる品目の計画を立て、学校給食への供給を推進する。			
		実績値	36	31	30	36	34	34					
達成(評価)(C)		-	B	B	B	B							
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 新たに使用できる品目の計画を立て、にんじん、小松菜、椎茸など、給食センターへ新たに納品を行える食材の供給体制、品質の確保を行った。 また、乾燥ニンニクについても、市補助金の活用により、機械を整備、R2年度より生産を開始する。												
経営改善・担い手	2.信頼される産地づくり支援事業 【検体数】 (H27) - (H28)利用件数 (H29)同上 (H30)同上 (R元) 【当初事業内容】 引き続き支援事業を行い安全・安心な農産物づくりに取り組んでいく。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】			
		目標値	-	150	147	123	123	543	B	引き続き支援事業を行い安全・安心な農産物づくりに取り組んでいく。			
		実績値	150	147	127	126	117	517					
		達成(評価)(C)	-	B	B	A	B	累計はH28-R元の数					
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 検査料、出荷量の変化がなく予定どおりに推移しており、順調に取り組んでいる。												
経営改善・担い手	◆農地の保全と活用の促進												
	1.中山間地域等直接支払事業 【箇所数】 (H27~H29)組織数 (H30)組織数 (R元)同上 【当初事業内容】 適正な維持管理を行ってもらうよう、指導・助言を行う。 4期対策5年目の最終年度となるため、取組の維持に向けた説明会を開催していく。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】			
		目標値	-	11	11	11	11	11	A	新制度の加算項目への取組を支援し、農家所得の向上や耕作放棄地の抑制などの農業環境維持を図る。「棚田地域振興加算」「将来を見据えた集落戦略の作成(R3年度末までに作成)」等による加算等。 ・制度改正に伴い、システム更新委託業務を実施する。			
		実績値	8	11	11	11	11	11					
達成(評価)(C)		-	A	A	A	A							
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・第4期対策最終年度となるため組織数・面積・農家数の維持を図り、結果、面積微増で完了。 ・次期対策(第5期:R2年度~R6年度)について、事業目的や制度の改正内容について十分な周知・説明を行い、次期に11団体、665ha、約100農家が継続して取り組むことに繋げることができた。												

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
経営改善・担い手	○具体的な取組(P)	実績値								【令和2年度の取組内容】	
	2.多面的機能支払事業【組織数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)		
	(H27~H29)組織数 (H30)組織数 (R元)同上	目標値	-	10	10	10	10	10	B	既存8組織、再認定1組織、新規設立1組織の計10組織に対して交付金を支払う。制度の新たな活動に向けて、広報等で制度を周知し、新たな組織の設立を促進し、交付金の対象農地の増加に繋げる。	
	【当初事業内容】 各広報誌、ケーブルテレビなどで制度の周知を図る。また、各地域の農業委員と調整し、事業が実施できそうな地区に対して、説明に向く取組等を行い、新組織の立ち上げに繋げる。	実績値	10	10	10	10	9	9			
		達成(評価)(C)	-	A	A	A	B				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 香南市広報、ケーブルテレビで制度を周知した。また、地域の農業者から要望があった際に制度の説明を行った。 既存9組織のうち、令和元年度が最終年度になる1組織に対して活動の継続を促した。 また、新たに1組織の立ち上げに向けた調整を行った。								
中山間	◆有害鳥獣被害対策	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	1.鳥獣被害対策実施隊【頭羽】	目標値	680	500	870	870	870	3,790	B		今後も、各地区の狩猟者と連携しながら、捕獲数を増やしていく。
	(H27)捕獲数 (H28)同上 (H29)同上 (H30)同上 (R元)同上	実績値	566	600	742	679	864	3,451			
	【当初事業内容】 被害対策協議会等、各地区の狩猟代表者が集まる場において、鳥類駆除への協力を要望し、捕獲数増加・目標値達成を目指していく。	達成(評価)(C)	-	A	B	B	B				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 各地区の狩猟者と連携しながら、有害鳥獣の駆除を実施。								
	2.有害鳥獣被害防止事業【M(メートル)】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27)防止策延長 (H28)同上 10,000m (H29)同上 10,000m →9,026mで完成(A評価) (H30)同上 →9,966mで完成(A評価) (R元)同上	目標値	-	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	A		今後も窓口等での案内や広報掲載等で本事業の周知を図り、事業の活用に繋げていく。
	【当初事業内容】 窓口等での案内や広報掲載等で本事業の周知を図り、事業を進めていく	実績値	8,340	7,539	9,026	9,666	7,378	33,609			
		達成(評価)(C)	-	B	A	A	A	累計はH28-R元の数			
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 農業者からの有害鳥獣被害に対する被害の相談があった際等に制度の説明及び活用を勧め、事業の活用に繋げた。 ※								

令和元年度の取組実績

【林業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(※)	第1期達成(達成度合)	備考
林業境界明確化面積 (ha)	目標値	100	100	250	420	600	600	C	【根拠数値】 ・目標値、実績値は累積面積。 ・実績値の()の数字は、その年度に実施した面積。
	実績値	97.4 (97.40)	97.4 (0)	97.4 (0)	120.11 (22.71)	146.34 (26.23)	146		
	達成(評価)	B	C	C	C	C		24.4%	

■取り組みの評価(総評)

※: 5か年の目標値累計と実績値累計

【R元年度の取組についての総評】

計画当初はR元年度に180haの実施を目標としていたが、現状を踏まえ、50haの実施を行うように調整を図り、うち明確化に対する同意が得られた26.23haの事業を実施した。
5年間を終えた時点で、目標値600haに対し、実績が146haと大きく下回る結果となった。
事業を実施するうえで、交付金の補助単価が低く、十分な事業費を確保できないという問題があったため、令和2年度以降は、森林環境譲与税を活用し、市が事業主体となり、森林組合への委託事業として実施することで、境界明確化を進めていく。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値								
	○具体的な取組(P)	実績値								

戦略の柱	◆林業の振興	1. 林道道路側溝整備事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
			目標値	① - ② L=8,273m	① L=2,500m ②③④	① L=10m A=41.7㎡ ② A=800㎡ ③ L=4,500m ④ L=8m、 A=29㎡	① L=5.0m A=16.5㎡ ② L=3,000㎡ ③ A=400㎡ ④ 33,191㎡	① 林道施設災害復旧 ② A=1,000㎡ ③ L=2,000m	-	B	
実績値	① L=1,000m ② L=8,273m	① L=2,500m ②完了 ③未完了 ④完了	① L=10m、 A=39.5㎡ ② A=1099.2㎡ ③ L=3,380m ④ L=8m、 A=30.9㎡	① L=5.0m A=16.5㎡ ②③中止 ④ 33,191㎡	① 林道施設災害復旧完了 ② A=1,610㎡ ③ L=1,200m	-					
	達成(評価)(C)	-	① A ② A ③ C ④ A	① A ② A ③ B ④ A	① A ② C ③ C ④ A	① A ② A ③ B		A=10、B=2、 C=3であり、Aと Bの割合は、 12/15=80%の ため、Bとした。			
	事業内容(D・C)	【当初事業内容】 ① H30年度7月豪雨により被災した各林道施設のうち、今年応急仮工事までで終了している3路線4箇所を順次施工。 ② 舗装部を全路線でA=1,000m 2程度施工 ③ 各林道施設の状態を考慮し、特に改善の必要な路線においてL=2000m程度の側溝の清掃を行う。	【R元年度の取組内容】 (林道施設災害復旧工事) ・一部路線においてやむを得ず工期の延期等があったが、概ね予定通りに発注・進行し、R元年度末にすべての工事を完了した。 (林道維持管理舗装修繕工事) ・隣接する災害復旧工事の進捗と調整を図りながら、施工を完了した。 当初予定していた舗装の施工は完了したが、一部路線において舗装が急激に傷み、危険性が高い箇所を緊急で施工したが、損傷した舗装のすべては修繕できなかった。 (側溝清掃) ・予定していた水路の施工を行ったが、一部については損傷した舗装の修繕を優先したため、予定の2,000mには至らなかった。								

戦略の柱	◆林業の振興	1. 緊急間伐総合支援事業	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
			目標値	① 5ha ② 57ha ③ 3,300m	① 10ha ② 30ha ③ 2,800m ④ 3ha ⑤ 1,000m	① 10ha ② 30ha ③ 2,800m ④ 3ha ⑤ 1,000m	① 10ha ② 58ha ③ 1,700m	① 11.43ha ② 20ha ③ 未確定 ④ 400m	-	C	
実績値	① 0ha ② 15ha ③ 1,880m	① 0ha ② 16ha ③ 2,802m ④ 次年繰越 ⑤ 次年繰越	① 23.98ha ② 22.45ha ③ 1,247m ④ 2.7ha ⑤ 887m	① 8.57ha ② 26ha ③ 990m	① 1.19ha ② 次年繰越 ③ 次年繰越 ④ 152m	-					
	達成(評価)(C)	① C ② C ③ C	① C ② C ③ A ④ C ⑤ C	① A ② B ③ C ④ B ⑤ B	① B ② C ③ A	① C ② C ③ C ④ C		A=3、B=4、 C=13であり、A とBの割合は、 7/20=35%のた め、Cとした。			
	事業内容(D・C)	【当初事業内容】 H30年7月豪雨で被災した県道・作業道の復旧が完了次第、事業を実施する。	【R元年度の取組内容】 (切捨間伐) ・森林所有者からの事業要望が当初の見込みより少なかったため、1.19haの実施となった。 (保育間伐) ・H30年7月豪雨で被災した県道222号(奥西川岸本)線の復旧が完了しなかったため未実施となった。 (搬出間伐) ・同上 (作業道整備) ・県道222号線の復旧が完了しなかったため、事業箇所を変更し152mの実施となった。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
		事業名称	目標値								A/B/C
○具体的な取組(P)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
森林資源保全	2. 森林整備地域活動支援事業 (H27)①森林経営計画作成推進 ②設業集約化 ③条件整備 (H28)①森林経営計画作成推進 ②設業集約化 ③条件整備 (H29)①森林経営計画作成 ②森林所有者境界明確化 ③設業集約化 ④条件整備 (H30)①森林所有者境界明確化(夜須町沢谷) ②条件整備(夜須町沢谷) (R元)①森林経営計画作成(香我美町撫川) ②森林境界明確化(香我美町撫川)	目標値	①203.75ha ②10ha ③224.97ha	①100ha ②5ha ③50ha	①100ha ②35ha ③5ha ④5ha	①50ha ②38ha	①50ha ②50ha				C
		実績値	①81.5ha ②5ha ③76.05ha	①84.41ha ②未実施 ③未実施	①98.3ha ②③④未実施	①22.71 ②中止	①次年繰越 ②26.23ha				
		達成(評価)(C)	①C ②C ③C	①B ②C ③C	①B ②C ③C ④C	①C ②C	①C ②C				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 (森林経営計画) 計画樹立予定エリアの面積が、当初の見込みより少なく、樹立が困難となったため未実施。 R元年度に森林境界明確化を実施した箇所を含め、R2年度に繰り越して実施する。 (森林境界明確化) 香南市香我美町撫川地区の林班で実施し、同意が得られた26.23haで事業を実施した。								
	3. 森林・山村多面的機能発揮対策事業	目標値	-	-	準備・整備	事業周知の徹底	事業周知の徹底	-		B	現在、香南市内で活動している組織は無いが、今後の制度の活用に向けて、山林所有者や地元の自治会等の制度の活用ができそうな方々に対して周知していく。
		実績値	-	-	事業に対する要綱等を整備	未実施	実施済	-			
		達成(評価)(C)	-	-	A	C	A				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 広報(R2.1月号)に事業について掲載し事業の周知を図ったが、事業の活用にはつながっていないことから、今後は活用につなげるために森林所有者や地元の自治会等の組織を対象に更なる周知に努めていく。								
	4. 林地台帳整備事業	目標値	-	-	-	準備・整備	システムの整備	-		-	林地台帳の活用の増加、情報の精度を上げるために、システム情報の整備を進めていく。
		実績値	-	-	-	-	改修済	-			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	-				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 森林管理制度における意向調査を実施する際に活用できるように、県がシステムの改修を行った。森林所有者情報を円滑に追加・更新していく方法がまだ確立していない。今後、登記情報をシステムに随時更新できる方法を県や税務収納課等の関係部署と連携しながら検討をしていく。								
5. 水源の森整備事業	目標値	5	5	5	-	10	25		B	H30年7月豪雨で被災した県道222号(奥西川岸本)線の復旧が完了した後、実施する。	
	実績値	5	5	5	7.88	0	22.88				
	達成(評価)(C)	A	A	A	-	C					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 H30年7月豪雨で被災した県道222号(奥西川岸本)線の復旧が完了しなかったため、対象森林で緊急間伐総合支援事業による間伐が実施できなかったため、未実施。									
6. 森林整備推進事業(高性能林業機械導入)	目標値	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②1台導入	1台導入	導入台数9		B	制度を活用し、必要な高性能林業機械を導入していく。 (スイングヤーダ1台導入予定。)	
	実績値	①1台導入 ②1台導入	①1台導入 ②次年繰越	①1台導入 ②1台導入	①中止 ②1台導入	1台導入	導入台数7				
	達成(評価)(C)	A	B	A	C	A					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 計画通りに導入することができた。									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
木質バイオマス	◆林業の振興										
	1. 森林の活用 【件数】 (H27)①木質バイオマス供給対策 ②利用促進対策 (H28) 農業ハウス用ペレットボイラー数 2基の運用 ※ H31年度3月末までに用意する数 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) ペレットボイラー譲渡	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値	2	2	2	2	譲渡	2	A	R2年度以降は事業無し。	
		実績値	2	2	2	2	譲渡済	2			
		達成(評価)(C)	A	A	A	A	A				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 耐用年数に達したため、利用者2名に譲渡した。										
【当初事業内容】 耐用年数に達したため、本年度中に利用者への譲渡を検討する。											
木育事業	◆山や森林に親しむ機会の提供										
	1. 森林学習事業 【開催回数】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元) 森林学習の実施	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値	-	-	-	-	1	1	A	①木育イベントの開催 ②保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③市主催以外の木育・林業関係のイベントの周知 を合計で11回実施し、子どもたちに山や木に親しむ機会を提供していく。	
		実績値	-	-	-	-	2	2			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	A				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 8/25に野市図書館にて木育イベントを実施。(20人参加) 3月に吉川小学校の卒業生を対象に、堀田委員による「卒業記念バードカービング教室」の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となったため、卒業記念品としてバードカービングを贈呈。										
【当初事業内容】 高知県森と緑の会の事業を活用し、小中学校の子どもたちを対象に森林学習を行い、森林に関心をもってもらう取組を実施する。											

令和元年度の取組実績

【水産業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(※)	第1期達成(達成度合)	備考
沿岸漁業総生産量 (t)	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	B	【根拠数値】 ・H27～29 三港(手結・赤岡・吉川) ・H30～令和元年度 三港及び民間事業者1社の生産量 ※H30 三港→1,057t ※R1 三港→1,196t
	実績値	1,086	693	839	1,119	1,298	5,035		
	達成(評価)	B	C	B	B	A		83.9%	

■取り組みの評価(総評)

※: 5か年の目標値累計と実績値累計

【R元年度の取組についての総評】

目標数値である「沿岸漁業総生産量」については、これまでの市内3漁協の生産量に加え、市内民間企業の生産量を加えた数字にH30年度実績値から変更した。目標値(沿岸漁業総生産量)1,200tに対し、実績値は1,298tであったことから、取組評価はAとした。
 戦略の柱となる「改修整備」については、県漁協吉川統括支所で共同作業施設(漁具倉庫)雨漏り補修を実施し、手結支所では、バッテリー式フォークリフト更新等への支援により、漁業者の就業環境の向上に努めることができた。しかし、吉川統括支所の集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新については設計は実施したが、施工までは至らなかったため、令和2年度に施工することとなっている。
 また、「経営基盤強化」については、ここ数年は新規漁業就業者の確保に至っていない状況であった。このような状況の中で、就業希望者の相談窓口が一元化され、H31.4月より「(一社)高知県漁業就業支援センター」が設立され、支援制度が拡充されるなど、より一層新規漁業就業者を確保する体制が整備された。
 「生産・加工・流通・販売」においては、県漁協手結支所のシラ等販売額が順調に推移している。また、かちりじゃこ(イワシシラス)の学校給食納入に向けた取り組みを継続して実施し、サンプル品評価・加工場見学を実施し、2月から試験的納入を開始した。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値								
改修整備	◆水産業の振興									
	1. 水産機能施設の整備 (老朽化等に伴う各種漁業用施設の改修・整備) 【改修・整備件数】 ※老朽化等に伴う各種漁業用施設の改修・整備件数 10件 (H26からの累計) (H27) 施設改修・整備 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上 【当初事業内容】 県漁協吉川支所 (水産機能施設改修事業) ・共同作業施設(漁具倉庫)雨漏り補修 ・集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新 各支所単位で支所長・地区代表へのヒアリングを通じて、設備改修・整備を実施していく。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	目標値	8	8	8	10	12	12	A		県漁協吉川統括支所 ・水産機能施設改修事業 集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新 県漁協赤岡支所 ・水産機能施設改修事業 上架施設軌条取替 荷捌所改修(防鳥対策等)
	実績値	6	11	15	17	20	69			
達成(評価)(C)	A	A	A	A	A	A				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 【吉川統括支所】 ①共同作業施設(漁具倉庫)雨漏り補修工事 ②集荷貯蔵施設冷凍設備改修工事設計委託業務(工事R2予定) 【手結支所】 ①タンク購入事業 ②バッテリー式フォークリフト更新事業 ③冷凍庫風除室設置事業 ※ 目標値はH26年度からR元年度までの累計件数で、あくまでも老朽化による改修・整備の予測数値である。実際はR元年度時点までの累計は20件で、すでに目標値は達成しているが、要改修・整備等の施設が増加しているのが現状。									
	2. 漁港施設の整備改修整備事業 【改修整備率(%)】 2. 漁港施設の整備改修整備率 (H27) ①吉川漁港災害復旧工事 ②水産物供給基盤機能保全事業 ③住吉漁港灯浮標補修工事 ④県営事業 (H28) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②吉川漁港施設用地舗装復旧工事 ③吉川・住吉漁港航路標識保守点検 ④県営事業 (H29) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②海岸保全施設長寿命化計画策定 ③県営事業 (H30) ①水産物供給基盤機能保全事業 ②吉川漁港海岸堤防耐震調査事業 ③県営事業【赤岡漁港3号導流堤保全工事、赤岡漁港浮桟橋設置、河川海岸高潮対策事業、岸本海岸離岸堤消波ブロック製作・据付】 (R元) ①機能保全計画に沿った保全工事の実施 ②吉川漁港海岸堤防耐震化の事業化に向けて関係機関と調整 ③県営事業(港湾・漁港・海岸)への要望活動継続 【当初事業内容】 ・住吉漁港：西防波堤 設計業務 ・吉川漁港 船揚場(4)、護岸(東)の保全工事	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
目標値	-	37	30	37	43	43	B		・機能保全計画に沿った保全工事の実施。 ・吉川漁港海岸堤防耐震化事業の実施。(測量調査設計) ・県営事業(港湾・漁港・海岸)への要望活動を継続して実施予定。	
実績値	-	30	25	31	36	36				
達成(評価)(C)	-	B	B	B	B	B				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 水産物供給基盤機能保全事業 $6.5(\text{実績施設数}) / 18(\text{計画施設数}) = 36\%$ (住吉漁港) ・西防波堤の設計業務を実施 ・R元年度まで完成施設 (休けい物揚場・東防波堤) 計 2施設 (吉川漁港) ・船揚場(4)・護岸(東)の保全工事を実施 ・R元年度まで完成施設 (-2.0m物揚場(北)・-1.5m物揚場(北)・船揚場(4)・護岸(東)・導水施設(B)0.5施設 計4.5施設) 吉川漁港海岸堤防耐震化事業 ・R2からの事業化に向けて関係機関との調整 ・県への要望活動実施									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値								A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値										
経営基盤強化	◆水産業の振興											
	1. 新規漁業就業者の確保 【箇所数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) 研修生への継続支援 (H28) 赤岡地区の新規就業希望者への技術研修支援 (H29) 新規漁業就業希望者の募集 (H30) ①新規漁業就業希望者の募集 ②民間企業や漁協が行う「担い手育成支援」を行う国や県の雇用型事業の推進による新規漁業就業者の確保 (R元) ①高知県漁業就業支援センターとの連携による新規漁業就業者確保		目標値	研修継続支援	1	1	1	1	4	C	センター事業への支援・連携・活用 【自営漁業者育成事業】 【雇用型漁業支援事業】 【漁家子弟支援事業】 既存漁業者対象の制度説明会の開催 主要漁業種別の生活プランの作成 →センターHPへの掲載を目指す	
			実績値	研修継続支援実施	1	0	0	0	1			
			達成(評価)(C)	A	A	C	C	C				
			事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・(一社)高知県漁業就業支援センターが実施する研修事業に対する市補助要綱の制定 ・センターとの連携強化(センター職員を水産部会委員へ委嘱) 複数人で操業する市内漁業形態は1人での就業が難しい状況であることから、既存漁業者への漁家子弟支援事業や、法人経営体への雇用型漁業支援事業を周知していく。								
	2. 漁場の保全事業 【海藻類育成被度 %】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H28) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H29) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海活動 (H30) ①手結地区藻場保全活動 ②赤岡・吉川地区の掃海		目標値	46	52	58	64	70	70	B	【手結地区藻場活動】 大型海藻類の育成のため、母藻の設置を継続実施できる体制の確保 【赤岡・吉川掃海事業】 掃海用の網の仕様を決め、整備していく	
			実績値	44	44	52	47	43	42			
			達成(評価)(C)	B	B	B	B	B				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 手結地区藻場保全活動 ・魚類駆除(2回)、モニタリング(1回) ・相次ぐ台風の影響により、ウニ駆除及び母藻の設置は未実施だったが、2年間実施できていなかった魚類除去を実施した。 赤岡・吉川掃海事業 ・掃海(1回) ・掃海用の網の検討を実施したが、購入までは至らなかった。									
3. 漁業者の所得向上事業 (沿岸漁業総生産)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
(H27)①操業効率化を図るための衛星通信機器の整備等 ②手結：エンジンリース事業 ③所得向上に向けた協議 (H28)①エンジンリース事業 ②沖合養殖振興事業の実施 (H29)①沿岸漁業総生産量 ②エンジンリース事業 ③シラス業における所得向上検討 (H30) ①沿岸漁業総生産量 1,200t /年 ②沿岸漁業総漁獲高 238,000千円 ③沿岸漁業設備投資促進事業費補助金の要望整理 (R元) ①沿岸漁業設備投資促進 ②シラス漁における所得向上対策の検討 ③種子島周辺漁業対策事業の実施		目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	B	R元年度は「総生産量」については目標値を達成しA評価とした。しかし、「総生産額」は前年比88%となっており、単価が低かったことが要因である。 そのためR2年度より「総生産額」を目標値として設定し、主要魚種の各単価も目標値を設定し、魚価の向上の対策を実施していく。 また、漁業者の設備投資の際に借り入れる資金に対する利子補給制度を策定する。		
		実績値	1,086	693	839	1,119	1,298	5,035				
		達成(評価)(C)	B	C	B	B	A					
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 県漁協3支所(手結・赤岡・吉川統括)の生産量 ※R元年度(H31年度)の目標値はH24-26の平均値(生産量:前年比116%・目標値108%) 注: H30年度より吉川漁港漁協水揚げデータに反映されない法人経営体生産量追加 県漁協3支所(手結・赤岡・吉川統括)漁獲高 H27年度 = 2億5670万円、H28年度 = 1億6478万円、H29年度 = 2億9276万円 H30年度 = 3億5887万円、R1年度 = 3億1487万円(前年比88%) (注)H30年度より吉川漁港漁協水揚げデータに反映されない法人経営体漁獲高追加 R元年度は「総生産量」については目標値を達成しA評価とした。 しかし、「総生産額」は前年比88%となってる。(※単価が低かったことが要因。) ○沿岸漁業設備投資促進事業 ・エンジン導入(1基)による効率的な操業、生産性向上及びコスト削減による収益性の向上 ○シラス漁における所得向上対策の検討 ・先進地視察の実施(大阪府鯉巾着漁業協同組合) 漁業関係者12名 県・市各1名参加 ・魚価向上: 市場の集約、経営体の法人化(固定給等)、鮮度保持 ○種子島周辺漁業対策事業 ・築いそ設置によるイセエビの生産量の増加・漁業者の所得向上に繋がる									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称 ○具体的な取組(P)	目標値							A/B/C		
生産・加工	◆水産業の振興										
	1-1. 水産加工品流通販売の推進 【給食センターへの食材納入回数】 (H27) ①食育授業実施 - 未実施 ②小学生の三枚下ろし・地引き網体験 - 未実施 (H28) ①地元漁業の学習 2回実施 (H29) ①給食へのシラス納入検討 ②シラスの釜揚げ体験等の学習 4回実施 (H30) ①釜揚げ体験・食育学習 ②給食へのシラス(かちりじゃこ)納入検討 ③世代間交流事業 (R元) ①シラス(かちりじゃこ)の学校給食納入に向けて取り組みを継続及び実現 ②シイラ加工事業 (高知県漁協手結支所) 【当初事業内容】 ・給食センターによる加工場視察 ・課題解決策検討 ○配送時間対応 ○混獲物除去・大きさ等	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値	11	11	11	11	11	55	A	かちりじゃこの試験的な導入が開始されたが、市内加工業者全てではないため、課題整理を実施し、必要な取り組みをヒアリングし、支援策を検討していく。県版HACCP取得への支援等	
		実績値	19	22	23	22	22	108			
		達成(評価)(C)	A	A	A	A	A				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ○シラス(かちりじゃこ)の学校給食納入に向けての取り組み H30 : サンプル品評価の実施 R元 : 加工場視察の実施 R.2 : 給食センターへの試験的納入を開始 2月 3回(こうなん 1回 赤岡・吉川 2回) 3月 1回(赤岡・吉川 1回) ※以降新型コロナウイルスの影響による休校のため納入中止 ○シイラ等販売事業 前年度と同様に22回/年の納入を実施。								
流通・販売	1-2. 水産加工品流通販売の推進 【流通に伴う取組と設備】 【手結支所販売額(万円)】 (H27) - (H28) ①手結:加工所整備事業 (ヘッドカッター導入) (H29) - (H30) ①シイラを地元飲食店へ納入開始 (manamana) ②香南市産業振興計画施設等整備事業【保冷車購入】 (県漁協手結支所) (R元) ①市内水産物の認知度向上に向けた取り組み(ネーミング等) ②内水面漁業振興策の掘り起こし 【当初事業内容】 ・関係機関との協議 ・内水面漁業関係者からの意見・課題等の聞き取りを実施し、部会の中で報告し、振興策の検討を実施できるような体制づくりを行う。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値	1,500	1,500	1,500	3,000	3,000	10,500	A	県漁協手結支所の販売事業の強化(設備導入による商品拡充等) 地元水産物の利用状況アンケートを実施し、利用を促進させることにより、地元からのPRを強化させていく。	
	実績値	2,299	4,058	4,426	6,328	5,371	22,482				
		達成(評価)(C)	A	A	A	A	A				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ○市内水産物の認知度向上に向けた取り組み ・県漁協手結支所販売額 5,371万円 ・県漁協手結支所とmanamanaとの連携によるふるさと納税返礼品としての活用 R元年度 2件 ○内水面漁業振興策の掘り起こし ・内水面漁業関係者への聞き取りを実施 ・海面・内水面を含む全ての水産物は、森・川・海の繋がりによる恩恵を受けていることを踏まえ、物部川等の環境保全活動等に参加することにより地域環境保全を図っていく。 ※物部川フォーラム参加者：漁協関係者4名、市1名 ※間伐作業参加者：漁協関係者4名								

令和元年度の取組実績

【商業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(※)	第1期達成(達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円以上)	目標値	500	500	500	500	500	2,500	B	【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月末に公表されるため、実績値は、調査の対象機関の関係で、前年の製造品出荷額を記載。
	実績値	419	396	371	401	344	1,931		
	達成(評価)	B	B	B	B	B		77.2%	

■取り組みの評価(総評)

※: 5か年の目標値累計と実績値累計

【R元年度の取組についての総評】

香南カーニバルを実施する等、一時的な商業の活性化を図ることはできたが、商業分野の課題である「空き店舗」を活用した創業実績はなかった。

今後は、これまで以上に商工会や金融機関、不動産会社等と連携し、空き店舗補助金の周知や創業支援の充実を図る必要がある。

R元年度の取組としては、新たな施策展開等を行うことができなかったが、第2期に向けた商業分野独自の数値目標を設定することができ、地域商業の維持・発展を目指すために様々な取り組み・施策を検討することができた。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値								
商業支援	◆既存企業の育成・支援									
	1.香南市緊急融資保証料補給金事業(7年満期+10年満期)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	(H27) - (H28) 保証料を補給 (円) (H29) 同上 (H30) 同上 7年満期分 20,000円 10年満期分 30,000円 (R元) 利用件数	目標値	-	355,170	355,170	50,000	2件	-	C	商工会や金融機関等と連携し緊急融資を必要としている事業者への周知を継続する。
	実績値	-	13,205	19,308	27,198	0件	-			
	達成(評価)(C)	-	C	C	C	C				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 平成31年4月1日付けで高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結。 ・第1回支払 4,198円 ・第2回支払 32,206円 ・第3回支払 118円								
	【当初事業内容】 商工会や金融機関等と連携し緊急融資を必要としている対象者への周知を行う。									
	2.魅力のある商業地・商店街づくり	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	(H27) 商工会との協議 (H28) 商工会との協議 (H29) バル実行委員会の設立 (H30) 香南バルの開催 ※目標値: チケット販売数: 500セット ※1セット(5枚綴り) 3,500円 (R元) 香南カーニバルの継続開催 ※目標値 バル参加店舗 45店舗	目標値	商工会との協議	商工会との協議	バル実行委員会の設立	500	45	-	A	令和2年度も継続して事業を実施する予定であるが、従来のやり方・仕組みを見直し、市内飲食店等の認知度向上や新規顧客獲得につなげる。
	実績値	3回実施	4回実施	設立	537	48	-			
達成(評価)(C)	A	A	A	A	A					
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・香南バル実行委員会の開催 ・市内事業者への参加周知 ・HPやSNS等を活用した市民への周知 ・今回から芸西村の事業者やタクシー事業者も参加し、バルチケットの幅を広げた									
【当初事業内容】 香南市内外の方に、香南市内の飲食店の魅力を知っていただく機会の提供を行うため香南バルを開催する。										
3.事業者向けセミナーの開催	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
(H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) セミナーの開催	目標値	-	-	-	-	1	1	C	市商工会等と連携し、事業者向けに「学ぶ機会」を提供する。	
実績値	-	-	-	-	0	0				
達成(評価)(C)	-	-	-	-	C					
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 当初は事業者向けにSNS活用セミナー等の実施を検討していたが、キャッシュレス決済に関する説明会を市民及び事業者向けに実施することに変更した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、市主催のセミナーは開催できなかった。									
【当初事業内容】 香南市内外の方に、香南市内の飲食店の魅力を知っていただく機会の提供を行うため香南バルを開催する。										

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値									
商業支援	4-1.空き店舗等の活用 香南市空き店舗対策事業費補助金 【補助金交付件数】 【参考】 市：補助率2/10 上限400千円 県：補助率1/2 上限1,000千円 (H27) 今後についての検討開始 (H28) 空き店舗対策事業費補助金 (H29) 同上 (H30) 同上(要綱拡充) (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 次年度以降も、空き店舗補助金を継続し、商工会等とも連携し、空き店舗を活用した創業につなげる。	
	目標値	-	2	2	2	2	8	C			
	実績値	-	0	0	1	0	1				
	達成(評価)(C)	-	C	C	C	C					
		【当初事業内容】 香南市空き店舗対策事業費補助金の要綱を一部改正し、補助対象を香南市の「商店街の活性化」から「商業の活性化」へと拡充し、空き店舗の活用に繋がるとともに、HP等での情報発信を継続して実施する。 空き店舗を活用し創業される方には香南市外の方もいる。香南市民の創業者のみが受けられる支援を検討し、香南市外の創業者が創業を機に転入へと繋がる取組を地域支援課と連携し検討していく。	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・市内全域の空き店舗で活用できるようにする等、要綱の改定を実施した ・市HP等への掲載 ・問い合わせ3件							
	4-2.空き店舗等の活用 事業継承診断 【実施件数】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) 事業継承診断 (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 令和元年度及び平成31年度に実施した事業者への継続的な支援(専門家の紹介、支援機関との連携等)を実施するとともに、未実施の事業者に対して、「事業継承診断」の取組を進めていく。	
	目標値	-	-	-	30	28	58	B			
	実績値	-	-	-	28	28	56				
	達成(評価)(C)	-	-	-	B	A					
		【当初事業内容】 H30年度に実施した28件の事業者への継続的な支援(専門家の紹介、支援機関との連携等)を実施するとともに、高知県が推進する「事業継承診断」の取組を進めていく。	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・経営指導等の際に、60歳以上の経営者に対してヒアリングを実施 ・事業継承診断の実施件数:28件 ・事業継承を検討していた事業者(1者)を県事業引継ぎ支援センターに紹介し、高知求人ネットへ掲載し後継者を募集。							
	4-3.空き店舗等の活用 商工会等のHPへ空き店舗物件を掲載 【掲載件数】 (H27) 商工会HPへの空き店舗物件掲載数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 市内の空き店舗情報を一元化し、情報発信できるプラットフォームの構築を行う。	
	目標値	10	10	10	10	10	50	C			
実績値	2	2	2	4	3	13					
達成(評価)(C)	C	C	C	C	C						
	【当初事業内容】 市内不動産業者へ協力要請を図り「空き店舗の情報」を取りまとめ、商工会HPに加え、こうち創業villageや香南市のHPにも空き店舗物件を掲載し、周知の拡大を実施。	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・3件の空き店舗情報を掲載								
5-1.創業支援事業 ワンストップ窓口相談 【件数】 (H27) 創業支援計画の策定 (H28) 同上 (H29) ワンストップ窓口・創業に関する商工水産課と商工会への相談件数 (H30) 同上 (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 金融機関との連携を強化するため、定期的に訪問し意見交換等を実施し、関係機関との連携強化を図る。		
目標値	策定準備	策定準備	23	32	35	90	A				
実績値	-	策定準備	32	32	33	97					
達成(評価)(C)	-	A	A	A	B						
	【当初事業内容】 引き続き、商工会や金融機関と連携し、創業支援を希望される方への相談窓口の対応強化を図る。	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・相談件数:33件(うちサービス業25件) ・特定創業支援事業証明書の発行:2件(サービス業、小売業)								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称 ○具体的な取組(P)	目標値							A/B/C		
商業支援	5-2.創業支援事業 創業支援計画の見直し 【件数】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元) 創業支援計画の見直しやブラッシュアップを実施	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値					ブラッシュアップ	-	-	令和3年3月31日の創業支援事業計画の認定期間終了を前に、創業者が安心して香南市で起業するための相談体制を整え、創業後も長く事業を続けられるよう事業内容の見直しやブラッシュアップを実施する。	
		実績値					-	-	-		
		達成(評価)(C)					-				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・関係機関と更新に向けた協議等が実施できなかった。								
	6.商業経営のIT化への取組 【-】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元) キャッシュレス化等の整備に取組む事業者への支援の検討	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値					支援検討	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染拡大防止という観点からもキャッシュレスの推進を図る。	
		実績値					-	-	-		
		達成(評価)(C)					-				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・県主催のキャッシュレスセミナーへの協力(約50名参加) ・市民向けのキャッシュレスセミナーの開催(中止)								
7.創業支援利子補給金交付事業 【利用件数】 (H27)- (H28)- (H29)利用件数 (H30)同上 (R元)同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
	目標値	-	-	3	3	3	9	B	引き続き、本制度を活用していただくために、創業者や金融機関への周知を行い、創業時の負担軽減を図る。		
	実績値	-	-	2	3	3	8				
	達成(評価)(C)	-	-	B	A	A					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・市HPや市広報誌への掲載 ・補給決定件数3件									

令和元年度の取組実績

【工業分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(※)	第1期達成(達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円以上)	目標値	500	500	500	500	500	2,500	B	【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月末に公表されるため、実績値は、調査の対象機関の関係で、前年の製造品出荷額を記載。 ※R元年度実績値(344億円)は、令和元年工業統計調査結果速報(調査期間H30.1.1~H30.12.31)の数値
	実績値	419	396	371	401	344	1,931		
	達成(評価)	B	B	B	B	B		77.2%	

■取り組みの評価(総評)

※: 5か年の目標値累計と実績値累計

【R元年度の取組についての総評】

目標値(製造品出荷額)500億円に対し、実績値が344億円であったことから達成評価はBとなった。
達成に至らなかった主な要因としては、電子部品の製造品出荷額が大きく減少しており、自動車向けマイコン等の半導体製造を行っていたルネサス高知工場の閉鎖(平成30年5月末閉鎖)が大きく影響しているものと考えられるが、香南工業団地の立地企業(5社)やルネサス高知工場を譲渡した丸三産業(株)が操業を開始し、新工場用地として旧ルネサス東駐車場用地を取得するなど、第2期に向けて製造品出荷額増加と雇用の拡大に繋がる取り組みを進めることが出来た。
また、事務系企業誘致については、イシン(株)と連携して首都圏企業への誘致活動を行うことで、1社を企業誘致することが出来た。今後もIT・コンテンツ関連企業の誘致活動を強化し、事務系職場の集積拡大に取り組んで行く。
既存企業の育成・支援については、懇談会や合同企業説明会を開催し、各種支援事業の紹介や若者の地元定住に繋がる取り組みを行ったが、目標値に達していない事業が多く、周知不足や事業の見直しを行うなど、課題を残すこととなった。
第2期からは企業訪問を強化することで、雇用や経営状況の課題把握に努め、既存企業の雇用の促進と生産性向上に繋がる支援施策を提供していく。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値								
ものづくりの基盤整備	◆企業誘致の促進									
	1.香南工業団地整備事業【販売区画数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	(H27)区画の早期完売 (H28)同上 (H29)同上 (H30)残り1区画(A区画)の早期完売 (R元) 団地内の周辺整備や適切な維持管理 ・1号調整池の浚渫 ・法面及び排水路の維持管理	目標値	1	2	1	1	-	5	A	引き続き工業団地内の適切な維持管理を行う。
実績値	1	2	1	1	-	5				
達成(評価)(C)	A	A	A	A	-					
	【当初事業内容】 ・1号調整池測量調査設計委託業務 ・1号調整池浚渫工事 ・法面の草刈及び排水路の土砂撤去	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 工業団地内の周辺整備や適切な維持管理を行った。 ・法面や周辺の草刈(7/2、7/22、8/16、11/13) ・法面緑化対策工事 ・1号調整池浚渫工事							
	2.香南工業団地企業立地促進事業【採用者数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	(H27)補助金交付額 (H28)雇用促進・産業活性化 (H29)同上 (H30)立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る。 (R元) 立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る ・みすまる加工(株)の新規雇用者数16名(内地元雇用者半数以上)	目標値	-	-	-	28	16	160	C	みすまる加工(株)の設備導入が整い次第、必要に応じて会社説明会、面接会を開催し、地元雇用の促進を図って行く。
	実績値	-	42(21人)	19(12人)	9(4人)	2(2人)	72(39人)			
	達成(評価)(C)	-	-	-	C	C				
	【当初事業内容】 ・会社説明会、面接会の開催 2次募集(R2年9~10月)10名求人予定 3次募集(R3年3~4月)6名求人予定 ・市HP及び市広報誌への掲載 ・香南CATVへのテロップ放送	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 令和2年1月29日にみすまる加工(株)が事業を開始したものの、設備導入の遅れによりフル操業とならなかったため、予定していた雇用人数を確保出来なかった。 <みすまる加工(株)の補助金実績> ・補助金交付確定額23,495,000円(土地の取得費用10%を交付) ・雇用人数11人(内地元雇用6人) ※H30からの延べ人数 ※ 目標値 160人は H27から立地している5企業の雇用予定者数の合計。 ※ H30とR元の予定者数としては44人で、実績数は11人となることから、「C評価」。							
ものづくりの基盤整備	3.丸三産業(株)香南工場	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	(H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元) 工業用水の安定的な供給 ・操業開始(R元6月予定)に向けて安定的な工業用水の供給について地域や関係団体との調整に努める	目標値	-	-	-	-	工業用水の安定供給等	-	A	引き続き安定的な工業用水の供給と、フル操業に必要な雇用支援を継続する。また、施設統合に伴う土居地区及び高知県との取水協定書と覚書を締結し、市の生活用水、農業用水に支障を来さぬよう、地下水の保全に努めることで地元の水源井対策委員会との調整を図る。
	実績値	-	-	-	-	工業用水の安定供給等	-			
達成(評価)(C)	-	-	-	-	A					
	【当初事業内容】 ・取水及び排水関係団体との調整 ・各地区水源対策委員会の開催 ・香南工業用水対策特別委員会の開催(5/24) ・地下水保全条例の策定検討 ・県、市の工業用水施設統合	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 丸三産業(株)の操業に併せ、工業用水の供給を行うことが出来た。 (7/1試験運転開始、11/30工場竣工以後は順次試運転を行い、以後操業開始) ・香南工業用水特別対策委員会の開催(5/24) ・工場排水に関する覚書の締結(5/30) ・市の工業用水施設を県に統合(12/1)							

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値	実績値							A/B/C		
もろの基盤整備	○具体的な取組(P)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	4.川谷刈谷工場用地 【譲渡件数】 (H27) - (H28) 譲渡にむけた取組 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上		目標値	1	1	1	1	1	1	C		引き続き県と連携し、早期分譲となるよう企業誘致に取り組む。
	【当初事業内容】 ・再公募(H31.1/15~3/8)後の企業選定 ・川谷刈谷工場用地排水管設置工事		実績値	0	0	0	0	0	0			
			達成(評価)(C)	C	C	C	C	C				
	事業内容(D・C)		【R元年度の取組内容】 分譲決定企業から分譲辞退の申し出があり、立地に至らなかった。 ・川谷刈谷工場用地排水管設置工事									
	5.旧ルネサス東駐車場 【企業誘致数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 旧ルネサス東駐車場への企業誘致1社 ※工場用地として取得し分譲。		目標値	-	-	-	-	1	1	C		公募要領を作成し、早期の公募開始と分譲完了に取り組む。
	【当初事業内容】 ・土地鑑定及び用地測量の委託 ・用地買収 ・公募要領の作成→公募		実績値	-	-	-	-	0	0			
			達成(評価)(C)	-	-	-	-	C				
	事業内容(D・C)		【R元年度の取組内容】 用地買収及び分譲面積の確定に不測の日数を要し、公募に至らなかった。 ・民有地の不動産鑑定 ・民有地の測量及び全体用地の測量 ・用地買収(12/18) ・分譲面積の確定に係る登記作業(12/18~)									
	6.事務系企業の誘致 【企業誘致数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 事務系の企業誘致		目標値	-	-	-	-	2	2	C		今後もIT・コンテンツ関連企業の誘致活動を強化し、事務系職場の集積拡大に取り組んで行く。 ※R2年度より「商業分野」の取り組みとする。
【当初事業内容】 ・空き家、空き店舗の物件調査 ・イシン(株)との連携による首都圏企業訪問 ・首都圏企業ツアーの開催(8月予定)		実績値	-	-	-	-	1	1				
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	C					
事業内容(D・C)		【R元年度の取組内容】 イシン(株)と連携して首都圏企業への誘致活動を行うことで、1社を企業誘致することが出来た。 ・空き店舗物件調査 ・首都圏企業訪問 2回 13社訪問(7/10~7/12 6社、2/3~2/5 7社) ・香南市視察ツアーの開催 2/13~2/15(4社参加)										
もろの育成・支援	◆既存企業の育成・支援		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	1.香南市香我美町企業立地交流会 【回数】		目標値	1	1	1	1	1	5	A		引き続き懇談会を開催し、雇用や経営状況の課題把握に努め、既存企業の雇用の促進と生産性向上に繋がる支援施策を提供していく。また、香南市ものづくり会との組織の統一化を図る。
	(H27) 交流会の開催 (H28) 同上(8企業:14名) (H29) 同上(8企業:13名) (H30) 同上(8企業:10名) (R元) 同上		実績値	1	1	1	1	1	5			
	【当初事業内容】 ・企業訪問による事業照会や現状、課題の把握 ・新規立地企業の入会勧誘(2社) ・香南市ものづくり会との合同開催		達成(評価)(C)	A	A	A	A	A				
	事業内容(D・C)		【R元年度の取組内容】 香南市ものづくり会との合同交流会を開催し、企業間の交流を深めるとともに、各種支援事業の紹介や香南市第2期産業振興計画の取り組みの説明を行った。また、新たに2社を入会することが出来た。 ・香南市香我美町企業立地交流会と香南市ものづくり会の合同交流会開催(1/20 8企業12名の参加) (※香南市ものづくり会との合算では12企業で16名の参加)									
	2.香南市ものづくり会 【回数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
(H27) 会の開催 (H28) 同上(6企業6名) (H29) 同上(未実施) (H30) 同上(7企業8名) (R元) 同上		目標値	1	1	1	1	1	5	B	引き続き懇談会を開催し、雇用や経営状況の課題把握に努め、既存企業の雇用の促進と生産性向上に繋がる支援施策を提供していく。また、香我美町立地企業交流会との組織の統一化を図る。		
【当初事業内容】 ・企業訪問による事業紹介や現状、課題の把握 ・香我美町立地企業交流会との合同開催 ・ものづくり職人の香南市表彰への推薦		実績値	1	1	0	1	1	4				
		達成(評価)(C)	A	A	C	A	A					
事業内容(D・C)		【R元年度の取組内容】 香我美町立地企業交流会との合同交流会を開催し、企業間の交流を深めるとともに、各種支援事業の紹介や香南市第2期産業振興計画の取り組みの説明を行った。また、会員企業に香南市表彰制度の推薦案内を行った。 ・香南市香我美町企業立地交流会と香南市ものづくり会の合同交流会開催(1/20 6企業8名の参加) (※香南市ものづくり会との合算では12企業で16名の参加) ・香南市表彰制度の推薦案内										

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値									
もろへら	3.香南市産業人材育成事業 香南市産業人材育成事業費補助金 【補助金交付数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (対象事業を拡充) (R元) 同上	目標値	5	5	5	5	5	25	C	事業の周知を強化し、利用の促進を図ることで、従業員のスキルアップに繋げる。	
	※補助率1/2 上限200千円×5事業所	実績値	0	0	1	1	3	5			
	【当初事業内容】 ・企業訪問や懇談会での事業紹介 ・市ホームページへの掲載 ・研修機関への事業紹介	達成(評価)(C)	C	C	C	C	B				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 市HPや企業訪問、また、懇談会や商工会を通じて事業の周知を行い、昨年度の実績値を上回ることが出来た。 また、高知職業能力開発短期大学校と連携し、同校が主催する人材育成研修への参加を募った。 ・令和元年度補助金実績:3件 ・市HPへの掲載、企業訪問、商工会や懇談会を通じての事業紹介 ・高知職業能力開発短期大学校との連携による人材育成研修の利用促進									
	4.香南市未来人材育成奨学金 返還助成事業 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金 【補助金交付数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) 交付 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (対象業種を拡充) (R元) 同上	目標値	10	10	10	10	10	50	C	事業の周知を強化し、利用の促進を図ることで、人材の確保と市への定着に繋げる。	
	【当初事業内容】 ・補助金交付要綱の一部を改正し、事業の拡充を図る ・企業訪問や懇談会での事業紹介 ・市ホームページへの掲載	実績値	0	0	0	0	0	0			
	事業内容(D・C)	達成(評価)(C)	C	C	C	C	C				
	【R元年度の取組内容】 市HPや企業訪問、また、懇談会や商工会を通じて事業の周知を行ったが、助成対象となる新卒者が少なかったことから利用に至らなかった。 ・市HPへの掲載、企業訪問、商工会や懇談会を通じての事業紹介 ・R2年度に向けて利用の促進を図るため、対象要件を拡充(40歳未満の中途採用者も対象)し、要綱改正を実施。										
	5.合同企業説明会の開催 【開催数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 合同企業説明会の開催	目標値	-	-	-	-	2	2	A	引き続き合同企業説明会を開催することで、市内の求職者や次世代の若者に就職の選択肢を拡げ、地元への定住と移住・UIターンを促進を図る。	
【当初事業内容】 ・市内施設での合同企業説明会の開催 ・城山高校での合同企業説明会の開催	実績値	-	-	-	-	2	2				
事業内容(D・C)	達成(評価)(C)	-	-	-	-	A					
【R元年度の取組内容】 合同企業説明会を開催し、地元立地企業の魅力を紹介するとともに、人材確保の支援と若者の地元定住に繋がる取り組みを行った。 ・高知県立地企業合同企業説明会の開催(8/27にのいちふれあいセンターで開催、9企業:48人の参加) ・城山高校合同企業説明会の開催(2/12に城山高校で開催、6企業:城山高校2年生の27人が参加)											
6.中小企業者の生産性向上 支援事業 【認定件数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
(H27) - (H28) - (H29) - (H30) 中小企業者の先端設備導入計画の認定件数 (R元) 同上	目標値	-	-	-	30	30	60	C	事業の周知を強化し、利用の促進を図ることで、市内中小企業の設備投資を後押しし、生産性の向上人材に繋げる。		
【当初事業内容】 ・企業訪問による事業紹介 ・商工会会員への事業紹介 ・市ホームページへの掲載	実績値	-	-	-	8	10	18				
事業内容(D・C)	達成(評価)(C)	-	-	-	C	C					
【R元年度の取組内容】 市HPや企業訪問、また、懇談会や商工会を通じて事業の周知を行い、昨年度の実績値を上回ることが出来たものの目標値には届いていない。 ・R元年度認定件数:10件 ・市HPへの掲載、企業訪問、商工会や懇談会を通じての事業紹介											

令和元年度の取組実績

【観光分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (※)	第1期達成 (達成度合)	備考
観光施設入込客数 (万人以上/暦年)	目標値	100	100	120	120	120	560	B	【根拠数値】 ※実績値は暦年(1月-12月) ※対象施設11か所 (R元年度) ①のいち動物公園・・・188,386 ②月見山こどもの森・・・23,427 ③ヤ・シィパーク・・・326,404 ④絵金蔵・・・・・・・8,757 ⑤香南市サイクリングターミナル (宿泊者以外)・・・2,106 ⑥天然色市場・・・・・・・0 ⑦やすらぎ市・・・・・・・207,896 ⑧あぐりのさと・・・・・・・18,278 ⑨黒潮温泉・・・・・・・110,921 ⑩アクトランド・・・・・・・90,473 ⑪土佐カントリークラブ・・・69,005
	実績値	100.3	104.7	107.7	106.2	104.5	523.4		
	達成 (評価)	A	A	B	B	B		93.5%	

■取り組みの評価(総評)

※: 5か年の目標値累計と実績値累計

【R元年度の取組についての総評】

例年多くの集客が見込まれる7月・8月に天候の影響(長雨・台風災害・高温等)を受け、集客の落ち込みが見られ、世界的旅行者向け口コミサイトでランクインした県立のいち動物公園を筆頭に10月以降復調傾向にあったが、前年度の実績値にも及ばなかった。核となる観光拠点の形成においては、平成30年度に策定したヤ・シィパークランドデザインの分析・検証調査を行った。今後は、事業化に向けての県等と連携し、協議を図り、合意形成を行っていく。また、国際観光の推進としては、引き続き高知新港客船歓迎イベントへの出店を行ったほか、れんけいこうち広域都市圏事業においてバスツアーを開催し、外国人観光客のニーズ把握に役立てた。今後はインバウンドパンフレット等を活用し、外国人観光客の誘致を図るとともに、市内事業者向けにインバウンド研修を実施し、受入体制を強化する。観光部会では、これまで香南市観光の「ターゲット」を明確にせず、広く観光情報を発信してきたが、部会で協議を進めていく中で、より明確な施策を実施していくためにはターゲットの明確化が必須であることを確認したことから、R2年度は香南市を訪れる観光客の属性調査・ニーズを市単位で十分把握するために、市場調査を実施し、観光客の把握に努め、効果的な観光施策を実施へとつなげていく。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (累計)	第1期達成 (達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値									A/B/C
	○具体的な取組(P)	実績値									
核となる観光拠点の形成	◆観光の振興										
	1.三宝山観光拠点化事業 【新たな拠点数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (最終年度)	第1期達成 (達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	[三宝山観光拠点化基本構想 磨き上げ検討事業] (H25)~(H28)	目標値	-	-	-	-	-	-	-	民間企業による三宝山山頂の再開発計画に向けて必要な協議を行っていく。	
	[三宝山観光拠点化基本計画の策定] (H29)~ (H30)基本計画の精査・調整を踏まえた 実施計画の策定	実績値	-	-	-	-	-	-	-	計画の詳細については一定時間がかかることが見込まれることから、第2期には掲載せず、進捗状況に合わせて再度掲載を行う。	
	(R元) 地元企業による三宝山山頂の再開発計画への支援	達成(評価)(C)	-	-	-	-	-				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ■民間企業による三宝山山頂の再開発計画に向けた協議を年間を通じて実施。 (開発に向けた諸条件の整理やスケジュールの調整、行政との連携の在り方等を協議)									
	2.三宝山観光拠点化事業 地域と連携した高知県産ワインの ブランド化の推進 【-】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期 (-)	第1期達成 (達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
(H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元)事業確立に向けた調整	目標値	-	-	-	-	-	事業の調整	-		ブドウの栽培からワインの醸造、出荷までの一貫した生産体制の確立のために、ワイン醸造施設を令和2年度に建設する。	
	実績値	-	-	-	-	-	調整済	-		あわせて、ブドウの栽培量増加に向けた圃場の増加と生産性の強化を進める中で、耕作放棄地の活用や、雇用の創出にもつなげていく。	
	達成(評価)(C)	-	-	-	-	-	A				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 R2.3.10 市有地の売却 R2.3.18 香南市(高知県)産業振興推進総合支援事業費補助金 申請 事業者及び関係各課との調整を図り、令和4年度からの操業に向け調整を図ることができた。									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
		事業名称	目標値						A/B/C		
核となる観光拠点の形成	○具体的な取組(P)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		3.ヤ・シィパーク周辺地域の活性化 【入込客数(万人)】	目標値	-	-	-	策定	36.6	37		B
(H27)- (H28)- (H29)- (H30) 自然体験型キャンペーンに向けた整備 【ランドデザインの策定等】 (R元)ヤ・シィパーク入込客数	実績値	-	-	-	策定済	32.4	32.4				
【当初事業内容】 ■ランドデザインを基にした事業着手 ■グランピングテント等を活用したイベントの開催 ・4/27~5/5: ヤ・シィファミリーキャンプ (予約制) ■YASU海の駅クラブと連携したマリンアクティビティの提供 ・マリン体験受入 400人(5-11月) ・マリンスポーツ体験会(4/28,29) ■レンタサイクル事業	達成(評価)(C)	-	-	-	A	B					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会を開催(7回) ・県が手結港海岸緑地公園活性化事業委託業務 ▶観光拠点化に向け、H30GDの分析・検証調査を実施 ▶県の調査事業の結果H30GDの事業化困難 ・GWキャンピング事業実施(4/26~5/6:4家族16人参加) ・マリンスポーツ体験実施(7/12~9/14:64人、11/2~12/6:32人、2/21・2/23:3人) ・レンタサイクルモニター実施(7/20~9/30:110人、11/5~12/27:14人) ・台風や悪天候の影響で繁忙期である海水浴期間の入込客数が伸び悩んだ。(前年比▲2,395人)また、新型コロナウイルス感染症に伴い、明治安田生命レディース横浜タイヤゴルフトーナメントの中止等が影響し目標値の達成ができなかった。									
	4.manamanaの取組について 【売上高】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
(H27)着手 (H28)開店(H28.7.23~H29.3) (H29)売上高の向上に向けた取組 (H30)同上 (R元)同上	目標値	-	47,934	51,022	52,578	54,193	205,727	C	加工所兼店舗の売上増への取り組みを実施 ①内部の体制強化 ・新商品の開発(店頭メニュー開発) ・HACCP第2ステージ取得による衛生管理意識の向上 ②店舗の周知 ・イベントへの出店・出品 ・自主イベントの開催 ・情報発信 ③外販の強化 ・商談会への出席 ・外販先(小口)への営業強化		
【当初事業内容】 ■カフェ売上の増加 ・ランチメニューの拡充と新商品の開発 ・繁忙期の店頭対応に必要な人材の確保 ・店舗のPR ■外販強化 ・商談会への参加 ・HPを活用した広報の充実 ■生産体制 ・繁忙期に備えたアイスパーの在庫確保(目標ストック30,000本) ・原材料殺菌処理方法の確立 ・HACCP第2ステージ取得による衛生管理意識の向上	実績値	-	10,628	16,356	26,868	26,548	80,400				
	達成(評価)(C)	-	C	C	C	C					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ①カフェ売上の増加 ・アイス等開発(桜アイスジュエル、マナマナかき氷、高島屋お歳暮用3種) ・ランチメニュー等開発(野菜たっぷり豚冷しゃぶランチ、鮭とキノコの和風パスタ、クリスマスランチ2種) ・地域おこし協力隊とのコラボ期間限定メニューの提供(5/20~26) ・ランチBOXの宅配サービス(1/31~)→宅配は3/6で終了したが、ランチBOXは継続 ・各種情報誌への掲載、新聞、メディアによる放送 ②外販(販路開拓) (1)新規成約:14件(県外7件、県内7件)高島屋新横浜店他 (2)イベントへの出店・出品:18回 どろめ祭り他 (3)商談:商談会への参加3回 高知県産品商談会(6/4)他 ③生産体制 ・HACCP第2ステージ取得→R元年度中の取得未達成 外販先数は増加し、その分の売上高は増加したが、大口の外販先での売上げや、ふるさと納税等カタログでの売上げが減少した。また、新型コロナウイルスの影響で近隣市町村でのイベント出店回数が減少したため、昨年度売上高を下回った。									
広域観光	◆観光の振興	1.歴史観光の推進 (絵金蔵12,000人 /アクトランド130,000人)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	(H27)入館者数 (H28)同上 (H29)同上 (H30)同上 (R元)目標値変更115,500人 (絵金蔵10,500人 /アクトランド105,000人)	目標値	142,000	142,000	142,000	142,000	115,500	683,500	B	継続した企画展の開催やイベントと連動した夜間開館などを実施する。また、トリップアドバイザー等を活用し、外国人観光客への情報発信を行い、誘客促進を図るとともに、高速SA等の有料広告を活用し、情報発信を行う。	
【当初事業内容】 ・通年にかけて、様々な企画展、イベントを実施する ・トリップアドバイザー等のSNSを活用した情報発信 ・旅行会社へのセールス活動の実施 ・外国客船のオプションツアー受入	実績値	4,489	5,270	96,770	110,646	92,207	309,382				
	達成(評価)(C)	C	C	B	B	B					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・絵金蔵では、開館15周年記念企画や、冬の夏祭りイベントとの連携を強化して入館者増を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館やイベントの延期により目標達成には及ばなかった。 ・創造広場「アクトランド」では、県外のSA等でパンフレット配架に継続して取り組み、認知度の向上を図った。									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
広域観光	○具体的な取組(P)	実績値								
		2. 観光施設間の連携 【香南市観光施設連絡会の開催回数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)
(H27) 開催 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 香南市観光施設連絡会の開催 (R元) 同上		目標値	-	-	-	4	4	8	-	観光施設連絡会を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、施設間の情報共有を行うとともに、アプリ等を活用した周遊促進策について協議を行う。
実績値		7	9	4	3	2	5			
達成(評価)(C)		-	-	-	B	C	累計はH30-R元の数			
【当初事業内容】 ■ 観光施設連絡会の開催 ・観光施設の視察・見学等を実施し、施設間の情報共有を行う ・ヤ・シィパークを中心とした観光クラスター形成に向けた協議 ・レンタカー利用者をターゲットとした周遊促進企画の実施		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 観光施設連絡会の開催(12/27.2/18) ・市内各地域の観光施設の相互交流や活動の活性化を行うとともに、市内への誘客や周遊促進策の検討を行った。 また、連絡会の中で、観光施設の視察、見学を行うことで、施設間の情報共有を行った。 ・スケジュールに遅れが生じ、第1回目の開催が大幅に遅延したことで目標開催回数に及ばなかった。							
3. 歌舞伎でまちおこし 【イベント参加者数(人)(延べ)】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
(H27) 各催し物等の開催 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上		目標値	-	4,060	4,320	2,150	1,200	11,730	A	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、地域の歴史や文化を継承していくための様々なイベントや体験メニューの開発に継続して取り組み、観光客の呼び込みや交流人口の増加を目指す。
実績値		-	5,304	4,781	1,709	1,833	13,627			
達成(評価)(C)		-	A	A	B	A				
【当初事業内容】 ・土佐絵金歌舞伎定期公演 ・上方落語会 ・歌舞伎体験等の体験メニュー化に向けた協議 ・クラウドファンディング等を活用した人力車の導入 ・歌舞伎を題材としたワークショップの継続実施		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・土佐絵金歌舞伎定期公演(7/20.7/21 900名) ・上方落語会(7/7開催・参加者117名) ・歌舞伎体験等の体験メニュー化に向けた協議(5/25~5/26 研修) ・クラウドファンディング等を活用した人力車の導入に向けた協議(5/25~5/26 研修) ・歌舞伎を題材としたワークショップの継続実施(参加者501名)							
4. 塩の道を活用した取組 【回数】		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
(H27) - (H28) 土佐塩の道の整備、保全を行い、歴史遺産または、文化遺産として次世代に承継するとともに、交流人口の拡大や地域活性化を図る。 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上		目標値	-	-	-	500	650	1,150	B	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、引き続き、塩の道を活用したイベントを開催し、塩の道の次世代への承継と観光客増加をはかる。また、塩の道トレイルランニングレースのITAR(国際トレイルランニング協会)への登録を行い、新規参加者増加に取り組む。
実績値	-	323	480	595	376	971				
達成(評価)(C)	-			A	C	累計はH30-R元の数				
【当初事業内容】 ・トレイルランニングレースの開催(10/6) 25kmコース 60kmコースは開催するか検討中 ・30kmうおーくの開催(3月) ・塩の道ガイドウォークの受け入れ ・OTAへの登録	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 R1.9月: 塩の道トレイルランニングレース開催 R2.3月: 30kmうおーく(中止) 25kmコースの定員を270名まで増やしたことでエントリー者数が増加した。(昨年度エントリー数222名)しかし、同時期に開催の四万十ウルトラマラソン・脱藩トレイルの影響があり、60kmコースの参加者は伸び悩んだ。 また、3月に予定していた「30kmうおーく」は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止となったことから目標達成に至らなかった。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】		
		事業名称	目標値								A/B/C	
○具体的な取組(P)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
広域観光	5.物部川エリア広域観光連携事業【施設入込客数】 (H27) 施設入込客数増に繋げる取組 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上 【当初事業内容】 ・観光客動態調査によるデータ分析 ・満足度向上のためのアンケート調査及びフィードバックによる問題点の改善 ・PR動画の作成及びエリア関係者が連携した観光PRの実施 ・ミキハウスエリア認定の継続及び認定を活用した広報等の実施 ・MONOGLAMERの実施 ・ものべがわフェスタの開催 ・3市の観光資源を活用した旅行商品の造成・販売 ・地域イベント・スポーツ大会等での宿泊手配 ・県主催商談会への参加や旅行会社への個別セールスの実施 ・人材育成のための先進地研修等の実施 ・6次化商品開発のためのものべみらいとの協働	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)		【令和2年度の取組内容】	
		目標値	-	-	665,200	711,000	739,500	2,115,700	A			
		実績値	-	633,544	745,319	707,185	723,258	2,175,762				
		達成(評価)(C)	-	-	A	B	B	累計はH29-R元の数				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・物部川DMO協議会解散総会および(一社)物部川DMO協議会定時社員総会(6/7開催) ・理事会(5/10、5/23、6/7、9/19、11/7、11/27、1/7、2/13、2/28開催) ・広報担当者会(4/11、7/25開催) ・ものべがわフェスタ担当者会(4/18、5/14、6/13、7/11、8/6、9/5、9/19開催) ・観光客動態調査によるデータ分析 ・満足度向上のためのアンケート調査及びフィードバックによる問題点の改善 ・3市の観光資源を活用した旅行商品の造成・販売 ・PR動画の作成及びエリア関係者が連携した観光PRの実施(撮影、編集集中) ・ことりっぷ2万部増刷、レジサンプリング実施 ・高知大学協働学部実習受入(4月以降毎週火曜日) ・共同作成ツアー開催(2/22) ・台湾旅行会社宏飛インセンティブ受入(4/17、4/23、5/24、5/30、5/31、6/12) ・たまたばこツアー～オリジナルピンゴツアー(5/4、10/19、10/20開催) ・旅行会社等視察受入(5/11、8/21、8/30) ・イベント等観光PR(長宗我部フェス5/18、お城祭り7/12～15、9/13～16、海遊館9/7～9/8) ・県主催商談会への参加や旅行会社への個別セールスの実施 (5/16、6/10、6/18、6/19、6/26～27、10/10、11/28、12/12) ・土佐の観光創生塾参加(6/11、6/12、実践編7/3、9/27、情報発信スキル向上編7/16、9/11、地域づくり7/17、9/10) ・事業者研修(6/21開催) ・れんけいこうち主催コスタネロマンチカオブショナルツアーガイド、アテンド(6/26) ・わくわく号発行(5月、7月、9月、12月、3月発行) ・山北みかんモニターツアー(7/7、11/17開催) ・バリアフリー実地調査受入(7/2、7/4、9/3、9/17開催) ・台湾旅行会社ガブリエルツアー受入補助(7/11、8/22) ・全中ヨット大会運営(7/27、7/28) ・SA/パンフレット広告(8月～) ・ジェイアール四国バス高速バス座席ネット広告(8月～) ・インバウンド受入セミナー(9/9開催) ・風良里観光案内(4/30、5/1、5/6) ・特定会員マーケットを活用した誘客プロモーション(リロクラブ2/12～) ・観光創生塾セールス(1/27岡山1/28広島) ・高知真ん中移住ツアーアテンド(11/16～11/17) ・おもてなし課バリアフリー調査アテンド(7/2・7/4・9/3・10/1) ・土佐塩の道トレイルランニングレース(10/6) ・歴史サマーフェス観光PR(7/26・8/4・8/12・8/24) ・ツーリズムEXPOJAPAN出店(10/24～10/27) ・カシオゴルフ観光案内(11/28～12/1) ・ホーランドアメリカラインクルーズ船受入れアテンド(1/24) ・ラーチャーゴー取材アテンド(2/6・2/8) 【対象施設の入込客数】(9箇所) 723,258人 ①県立のいち動物公園 191,391人 ②創造広場「アクトランド」 89,518人 ③絵金蔵 8,126人 ④西島園芸団地(南国市) 96,909人 ⑤県立歴史民俗博物館(南国市) 28,888人 ⑥香美市立やなせたかし記念館・アンパンマンミュージアム(香美市) 167,786人 ⑦龍河洞(香美市) 105,887人 ⑧べふ峡温泉(香美市) 19,418人 ⑨ザ・シックスダイアリーかほく ホテルアンドリゾート(香美市) 15,335人									
		6.市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業【売上(千円)】 (H27) - (H28) 売上高増の取組 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上 【当初事業内容】 ・通年カタログの改編・配布 ・シーズンチラシ作成・配布 ・こうなん健康チャレンジポイントの継続 ・各種イベント等への出店 ・新たな事業者開拓や期間限定コラボセットの開発 ・れんけいこうち事業等を活用した販路開拓	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
			目標値	-	3,200	20,000	104,000	104,200	231,400	A		
			実績値	-	2,861	71,520	119,753	145,884	340,018			
			達成(評価)(C)	-	B	A	A	A				
			事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・シーズンチラシ作成・配布 ・各種イベント等への出店 4/28 土佐赤岡どろめまつり、4/29・5/25・8/24 高知新港出店、5/14 フジ高知いいものうまいもの市、 6/15 高知暮らしフェアin大阪、7/7 青少年剣道大会、9/7-8 高知フェアin海遊館、 9/14-15 ご当地キャラまつりin須崎、10/19 香南ライオンズクラブチャリティーカラオケin弁天座、 10/26 全国トランポリン大会in青少年センター、11/15-17 鏡川ふるさとまつり、 11/16-17 ふるさとチョイス大感謝祭in横浜、11/23 香南ふれあいまつり、12/1 高知移住フェアin有楽町 ・新たな事業者開拓や期間限定コラボセットの開発 (枕・スイカ・アウトドア用品・おじゃこ・生姜等の業者が増えた。 (季節商品の販売、フジ物産と司とのコラボ商品のタキ・どろめ等も導入予定。) ・れんけいこうち事業等を活用した販路開拓 5/12 日曜日、9/22-23 まるごとにつぼん「こうちプレミアムフェスタ」出品、 とさのさとアグリコレット出品(9月20日～継続中) ・香南市版ふるさと応援寄附金サイトの立ち上げ								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値	実績値								
広域観光	○具体的な取組(P)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
		7.地域まるごと旅行商品の開発販売及びブランドオペレーター機能構築事業【対象観光施設入込数(人)】 (H27)対象観光施設入込数増の取組 (H28)同上 (H29)同上 (H30)同上 (R元)同上 【当初事業内容】 ・SUNSETシーカヤック ・土佐塩の道トレイルランニングレース ・羽尾暮らし体験モニター ・高知県観光説明会・商談会への参加 ・こじゃんと等地域情報誌での情報発信	目標値	-	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	2,800,000	
		実績値	-	605,000	620,000	647,623	638,514	2,511,137			
		達成(評価)(C)	-	B	B	B	B				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・新聞バック作り(4/19 141名) ・散歩in香南(OVE青山・TORQUE渋谷ストリーム)(4/30 16名) ・安芸からのサイクリングロード、ヤ・シィパークでの休憩、ボードウォーク散策、見送り。 ・高知城夏のお城祭りPR(7/12参加:物部川DMO協議会のブースにて) ・令和元年土佐の観光創生塾参加(6/14、7/17) ・土佐赤岡絵金祭り本部対応(7/21) ・全国中学校ヨット選手権大会の宿泊受入・みなこい港祭りへの現地交通等の手配(7/25~30)(返子開成中学校17名) ・香南市子どもよさこい連合会 サポートスタッフとしてよさこい鳴子踊りに参加(8/10-11) ・土佐塩の道トレイルランニングレース(10/6 334名エントリー)、宿泊施設の案内、スポーツ店との交流実施。 ・ものべがわフェスタスタッフとして参加(10/22) ・土佐赤岡どろめまつり(4/28) ・冬の夏祭り(12/7-8)龍馬バスポート対応・会場案内等 ・室戸マリテラストレイルボランティア参加(12/7-8) ・自然&体験キャンペーン2ndシーズンスタートイベント準備 ・トレイルランニング2020福岡フォーラム参加(1/12) ・香南市観光ロゲイニングinヤ・シィパーク作成・公開(2/2公開、4人参加) ・こじゃんと等地域情報誌での情報発信(情報誌・広報紙・ラジオ・HP・FB・Instagram・ラインで実施) ・OTAへの登録:登録完了、2商品の販売開始 4/29(2名)、7/27(2名)の受入実施 ・スポーツハブ事業に委員として参加。 ・第3種旅行業の登録 【対象観光施設入込数】(7施設) 638,514人 ①県立のいち動物公園 191,383人 ②創造広場「アクトランド」84,081人 ③高知県立月見山こどもの森 25,403人 ④絵金蔵 8,126人 ⑤弁天座 2,778人 ⑥ヤ・シィパーク 324,375人 ⑦香南市サイクリングターミナル(宿泊数は除く)2,368人 ・県立のいち動物公園がトリップアドバイザーで全国第1位になったことがきっかけとなり、伸び率が大きかった。 また、前年度からのセールス活動が功を奏し、インバウンド(特に台湾からのお客様)の送客を行い、シリーズ商品としてツアー化され、集客が上がった。(R2年1月まで) ※2月以降は、新型コロナウイルスの影響により予約はすべてキャンセルとなった。 ※施設閉鎖に伴い、先方からの受け入れ要請があった場合でも、断らざるを得ない状況となったため、目標は達成できなかった。								
人材の育成	◆おもてなしの向上		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	1.まちの案内人会【会員数(人)】 (H27)会員数増加に繋げる取組を実施 (H28)同上 (H29)同上 (H30)同上 (R元)同上 【当初事業内容】 ・企業訪問による事業紹介 ・商工会会員への事業紹介 ・市ホームページへの掲載	目標値	10	10	19	26	26	26	B	香南市観光協会、高知県、香南市、各旅行会社などからの案内依頼によりガイドを行う。引き続き高知県ガイド連絡協議会と連携した広報活動を行い会員数増加につなげる。研修等の参加者を勧誘し、即戦力となる人材の確保に努める。 また、ガイドのついで講習会を実施し、会員のスキル向上をはかる。	
		実績値	10	10	22	23	24	24			
		達成(評価)(C)	A	A	A	B	B				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ガイド受入回数4回(81人) 高知県観光ガイド連絡協議会のHPを活用した広報を行った。 その他研修に参加した際に、声掛けを行うなどの広報活動により新規会員の獲得ができたものの、高齢を理由とした会員の退会により目標値に届かなかった。								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】			
	事業名称 ○具体的な取組(P)	目標値							A/B/C				
国際観光の推進	◆外国人観光客の受入体制づくり												
	1-1.外国人観光客の受入体制づくり 外国人観光客受入研修会の実施 【研修会実施回数】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30) 外国人観光客受入研修を実施し、受入体制強化に向けた課題の洗い出しを実施。 (R元)同上 【当初事業内容】 ・高知新港への継続出店 ・外国人観光客受入研修の継続実施 ・インバウンド向けモデルコース策定 ・市内観光施設外国人観光客入込数把握に向けた仕組みづくり	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】			
		目標値	-	-	-	5	2	7	C	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、観光関係事業者向けインバウンド研修を10月頃に開催し、訪日機会の最も多い台湾の文化やマナーの習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へ繋げる。			
		実績値	-	-	-	3	0	3					
		達成(評価)(C)	-	-	-	B	C						
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・高知新港への出店 12回 (4/29.5/14.5/19.5/25.6/2.8/4.8/24.9/13.10/16.11/13.11/24.12/10) ・れんけいこうち無料バス事業受入 (6/25 46名) ・絵金蔵外国人観光客団体受入 (4/25 72名 ・ 10/8 99名) ・スケジュールに遅れが生じたことで、事業者との調整がつかず開催見送りとなった。										
	1-2.外国人観光客の受入体制づくり 多言語対応パンフレットの作成 【-】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元)パンフレットの作成 【当初事業内容】 多言語対応パンフレットの作成及び県内主要施設での配布	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】			
		目標値	-	-	-	-	パンフレット作成	-	A	作成した観光パンフレットを7月までに県内主要施設等へ設置し、市外からの外国人観光客の誘致を強化する。			
		実績値	-	-	-	-	作成	-					
達成(評価)(C)		-	-	-	-	A							
事業内容(D・C)		【R元年度の取組内容】 ・パンフレットの作成 (英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)を各 3,000部)											

令和元年度の取組実績

【サイクリング分野】

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(※)	第1期達成(達成度合)	備考
レンタサイクル利用者数 (人/年)	目標値	-	1,000	1,800	2,100	2,300	7,200	A	【根拠数値】 ・対象施設3か所の貸出数 ①香南市サイクリングターミナル …大人/1155人・小人/523人 ②のいち駅…683人 ③創造広場「アクトランド」…10人
	実績値	-	1,714	2,060	2,156	2,371	8,301		
	達成(評価)	-	A	A	A	A		115.3%	

■取り組みの評価(総評)

※: 5か年の目標値累計と実績値累計

【R元年度の取組についての総評】

数値目標であるレンタサイクル利用者数は目標値を超えることができたが、悪天候や新型コロナウイルス感染症の影響等により、多くのイベント等が「中止」となった。

延期して開催する手段・手法も考えていくべきであったと感じており、第2期では代替案の検討を行っていく。

当専門委員会では、当計画の趣旨である「産業」に係る数値目標が「レンタサイクル利用者数」で良いのかとの意見もあり、第2期計画からは産業・関係人口づくりに変更することとした。

また、国、県、NPO法人高知Cycling project Maze-Cle等と連携する取り組みが多く、その都度取り組みを調整しているが、今後は更に関係を深め、即応性がある取り組みとできるようにすることが重要であることから、香南市では、当計画とは別に、R2年度に市のサイクリングに対する取り組み(「観光」と「健康」)を具現化していくための指針として『自転車活用推進計画』を策定することとした。

サイクリング事業は、この自転車活用推進計画を中心に据え、香南市産業振興計画とともに推進していくことを策定委員会・専門委員会を確認した。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値									
自転車を活用した観光への取組	◆観光の振興										
	1.各種イベントの開催 【イベント参加者数(人)】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) イベント参加者数 (R元) 同上	目標値	-	-	-	500	500	1,000	C	継続実施する。 ①自転車教室(5月・11月) ②ポタリング…(毎月第2土曜日) ③シクロクロス大会(10月) ④シクロング(11月)	
		実績値	-	-	-	459	97	556			
		達成(評価)(C)	-	-	-	B	C				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ①自転車教室(5月・11月) : 開催予定日が雨天だったため未実施 ②ポタリング : (毎月第2土曜日)のべ97人 ③シクロクロス大会(1月) : 開催を予定していたが主催者からの申し入れがあり中止 ④シクロング、ヒルクライム等 : シクロング…コロナで中止。 ヒルクライム : R2開催に向けて企画立案中(下記新規イベント項目参照) 天候や新型コロナウイルス、主催者事情等による開催中止が目立ち、実数が落ち込んでいる。 次年度以降は雨天時の振り替え開催なども計画に入れていく。								
	2.新規サイクリングイベントの開催 【イベントの開催】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	(H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 新規イベントの開催	目標値	-	-	-	-	イベントの開催	-	C	三宝山の周辺等を活用したコスプレイベントやマルシェなどを組み込み、一般客も楽しみながら自転車に興味を持ってもらう香南市ならではのイベントを開催する(R2.10月開催予定)。 また、物部川河川敷サイクリングロード整備に合わせた広域ロングライドを企画調整する。	
		実績値	-	-	-	-	0	-			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	C				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 観光客誘致と香南市のPRに繋げるイベントとして、三宝山を活用したサイクリングイベントを計画していたが、イベント運営主体NPO法人高知Cycling project Maze-Cleの設立と、企画、運営方法に調整期間としたため未実施。 R2年度はファミリーを対象としたシクロクロスの開催に向けて検討(R2.10、11月)									
3-1.香南市のサイクリングに対するPR ・中上級者向けのサイクリングコースの設定 【コース数】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
(H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 新規コース設定	目標値	-	-	-	-	2	2	A	第2期計画からは外すが、整備に合わせてパンフレット、インターネット等各種媒体を使いコースとサイクリスト誘致のPRを行う。		
	実績値	-	-	-	-	6	6				
	達成(評価)(C)	-	-	-	-	A					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 2コースを設定し、昨年度の6コースと合わせて全8コースとした。 ただし、新規コースはヤ・シパーク～岸本で整備中の自転車道を利用するため、実利用、PR等はその整備待ち。 整備中の自転車道は当初R元年度中に完成予定だったが、R2年6月完成予定となった。 また、物部川河川敷のサイクリングロード整備はR2年8月以降に整備開始となった。									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
		事業名称	目標値						A/B/C	
自転車を活用した観光への取組	3-2.香南市のサイクリングに対するPR・各種イベント等へ出展又は出場し香南市の取組をPRする。 【イベント参加回数(回)】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元)各種イベント等への出展。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
		目標値	-	-	-	-	6	6	C	
		実績値	-	-	-	-	3	3		
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	C			
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ①高知仁淀ブルーライド(5月) :大会に参加し、PR・現場視察を実施。 ②shimanoロードレース大会(鈴鹿市)に出店(8/31、9/1) :大会に参加し、PR・現場視察を実施。 ③安芸・室戸パシフィックライド(12/1) :大会に参加し、PR・現場視察を実施。 ④サイクルモードライド大阪に出店(3月) :新型コロナウイルス感染症の影響に中止。 ⑤四万十・足摺無限大チャレンジライド(3月) :新型コロナウイルス感染症の影響に中止。 ⑥広島県で開催されるイベントへの出店 :合同参加の県コンベンション協会が参加できなくなったため、香南市も不参加。 11月22日に山北ミカンを満喫する「ミカンライド」を予定していたが天候不順により中止。大会等の中止は残念だが、参加できるときは精一杯PR・現場視察を行う。								
	3-3.香南市のサイクリングに対するPR・サイクリングの取組を通じた香南市のPR 【イベント参加回数(回)】 (H27)- (H28)- (H29)- (H30)- (R元)PR事業 3企画	年度	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値	-	-	-	3企画	3企画	C		
		実績値	-	-	-	1企画	1企画			
		達成(評価)(C)	-	-	-	C				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ①香南市の取組を统一的に表すキャッチフレーズを専門委員会で考え、PRの強化に繋げる(5月) ▶専門委員会で検討したが、決定には至らなかった。自転車活用推進計画の中で再検討をしていく。 ②サイクリストが携帯できる折りたたみパンフレットを作成(8月) ▶ヤ・シィパーク西側の自転車道・物部川が完成と合わせて作成した方がよいことから、自転車道が完成するR2に作成することとした。 ③動画を活用したPR ▶地域おこし協力隊がサイクリング動画を作成し、高知市とさてらす、県外イベント、自転車首長会等で活用。視聴できる人が少ないため、インターネットの動画配信サービス等を活用していくことを検討。								
	4.レンタサイクルの利用者促進 【利用者数(人)】 (H27)レンタサイクル利用者数 (H28)同上 (H29)同上 (H30)同上 (R元)同上	年度	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
		目標値	-	1,000	1,800	2,100	2,300	7,200		A
実績値		-	1,714	2,060	2,156	2,371	8,301			
達成(評価)(C)		-	A	A	A	A		115.3%		
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ①5月に香南市サイクリングターミナルで自転車の無料貸出日を計画していたが開催日が雨天による中止。 ②小型タンデム自転車を2台購入。身体障害者向けのイベントで活用し、新規客層を獲得した。 ③地域おこし協力隊と香南市サイクリングターミナルで連携し、レンタサイクルが利用されにくい1月・2月の対応として、座学の場を設けるとしてオンシーズンに向けての自転車ファンづくりを行った。 ④③で協議したことをふまえ、7/20～9/30にヤ・シィパークでレンタサイクルモニター実施(利用件数:110件)アンケートの結果、「ヤ・シィパークでレンタサイクルを実施してほしい」という要望が多いと分かったため、R2年度中にレンタサイクルを開始できるように調整を図っている。ただし、現地指定管理者に依頼することは、人的に厳しいとの見解から、現時点では、サイクリングターミナルとNPO法人高知Cycling project Maze-Cle、道の駅テナントが共同でスタートする方向で調整を図る。									
5-1.サイクルオアシスの充実 サイクルラック設置事業 【サイクルラックの設置数】 (H27)- (H28)- (H29)新規サイクルオアシスの設置 (H30)同上 (R元)同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】	
	目標値	-	-	-	5	5	10	C		
	実績値	-	-	2	3	0	5			
	達成(評価)(C)	-	-	-	B	C				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 市広報6月号でサイクルオアシスの募集を行ったが、サイクルオアシスは、サイクルラックの設置だけでなく、給水設備が必要等の要件があり、新規応募はなかった。第2期計画では、地元事業所等からのご意見等から「サイクルラックを市で購入し貸与する」ことを計画し、R2年度に実施する。									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
		事業名称	目標値						A/B/C		
自転車を活用した観光への取組	5-2. サイクルオアシスの充実 ブルーライン敷設 【ブルーライン設置数】 (H27) - (H28) - (H29) 新規サイクルオアシスの設置 (H30) 同上 (R元) 【当初事業内容】 ・サイクリングコースを利用者が快適に走ることができるようブルーライン(路面標示)を敷設する。 ※ 既存6コースの中から3コースを選定し実施。 次年度以降、他コースも継続実施)	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 自転車活用推進計画内で、ブルーラインの敷設箇所、間隔、記載内容、使用ピクトグラム等を決定し、今年度の物部川河敷サイクリングコース完成に合わせ、国道・県道等への敷設調整を行う。 敷設はサイクリングパンフレットを作成した後のR3を予定。	
		目標値	-	-	-	-	3	3	C		
		実績値	-	-	-	-	1	1			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	C				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 県推奨のコース(野市町内)に敷設(ふせつ)を実施。 当初、市推奨のコースを3コース選定し敷設する予定であったが、ラインの引き方、間隔、記載するピクトグラム等に統一感等をもたせるために、R2年度に策定する自転車活用推進計画で決定し対応していくこととした。										
障害者や高齢者等へのスポーツ推進	◆サイクリング事業										
	1-1. タンDEM自転車の利用強化 パイロット育成事業 【パイロット育成数(人)】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元)パイロット育成 【当初事業内容】 ①障害者等が安心してタンDEM自転車を利用できる環境を整えるため、タンDEM自転車のパイロット講習会を開催し、パイロット養成を実施。 ②障害者等が気軽にサイクリングを楽しむことができるように養成したパイロットを派遣できる「パイロットバンク」の仕組みづくり・運用方法を考える。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 第2期計画には掲載されていないが、障害者等が安心してタンDEM自転車を利用できる環境を整えるため、継続実施する。	
		目標値	-	-	-	-	10	10	A		
		実績値	-	-	-	-	14	14			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	A				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ①タンDEM自転車のパイロット講習会を開催し、パイロット養成を実施 ▶ 東部自動車学校において、身体障害者の乗車体験と合わせてタンDEM自転車講習会を開催(2/9実施：参加者14人) ⇒ 障害者等がもっと気軽にタンDEM自転車を活用するにはパイロットの技術と数が更に必要であることから、今後も継続して実施。 ②パイロットを派遣できる「パイロットバンク」の仕組みづくり・運用方法を検討。 ▶ 事業主体であるNPO法人高知Cycling project Maze-Cleが講習会等の参加者名簿を管理しているが、当バンクへの活用には至っていない。 香南市だけではなく、県の福祉課や障害者スポーツセンター等と連携した仕組みづくりを図る。									
	1-2. タンDEM自転車の利用強化 イベント時の貸出数 【貸出イベント数(回)】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元)パイロット育成 【当初事業内容】 ①障害者等が安心してタンDEM自転車を利用できる環境を整えるため、タンDEM自転車のパイロット講習会を開催し、パイロット養成を実施。 ②障害者等が気軽にサイクリングを楽しむことができるように養成したパイロットを派遣できる「パイロットバンク」の仕組みづくり・運用方法を考える。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 第2期計画には掲載されていないが、タンDEM自転車ならではの、身体・世代の垣根を超えた利用を促進するため継続実施する。	
		目標値	-	-	-	-	2	2	A		
		実績値	-	-	-	-	2	2			
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	A				
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 サイクリングイベント等でタンDEM自転車の紹介、体験を通じて、周知を進めた。 ① R元年9/29(日)：ルミエールサロン試乗会 80人(5台) ② R2年2/9(日)：タンDEM自転車講習会 14人(10台) ※上記「1-1パイロット育成」があつてこそ同乗者の身体的安全が図られるため、更にパイロット育成に注力する。									
	1-3. タンDEM自転車の利用強化 レンタル事業 【レンタル数(延べ台数)】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) 利用件数 (R元) 同上 【当初事業内容】 ①広報誌やホームページ等の媒体を通じ、障害者等でも楽しめることをPRする。 ②障害者支援施設や介護施設等へ情報発信し、PRを行う。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 第2期計画では、タンDEM自転車講習会の参加者数を数値目標とし、タンDEM自転車を活用できる施設や事業(高齢者教室、婚活イベント等)と連携して活用機会を拡大させる。	
目標値		-	-	-	50	50	100	B			
実績値		-	-	-	51	47	98				
達成(評価)(C)		-	-	-	A	B					
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ① 広報誌やホームページ等の媒体を通じ、障害者等でも楽しめることをPRする。 ② 障害者支援施設や介護施設等へ情報発信し、PRを行う。 上記2つについて取り組みを予定していたが、本案件もパイロット育成後に本格的に活動することが望ましいとの判断から取組を見送った。 利用数自体はH30年度とほぼ横ばいであるため、障害者のみに焦点を当てず、健常者同士での楽しみ方をPRし、利用者増を図ることが必要である。										
健康増進と健康に配慮した取組	◆サイクリング事業										
	1. 健康ポイントを活用した取組 【開催回数】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) 健康サイクリング開催 (R元) 同上 【当初事業内容】 ・健康サイクリングを開催し、健康増進を図る。 5/25、6/22、9/21、10/19を予定。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 市民の健康増進を通じて自転車に対する関心を深めることにより観光サイクリストへの理解を深めることにつなげるため、参加者増を踏まえた取組方法を再考し、継続実施する。 健康サイクリング4回、広報活動4回。	
		目標値	-	-	-	3	4	7	C		
		実績値	-	-	-	3	1	4			
達成(評価)(C)		-	-	-	A	C					
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 市民の健康増進、初心者のきっかけづくりを目的とした健康サイクリングを、年4回(5/25、6/22、9/21、10/19)を予定していたが、雨天のため5/25のみの開催となった。(参加者10人) 定員20人に対し10人の参加者しか確保できなかったため、今後、「ただ走る」だけでなく、市内の観光名所(食や景色)を巡る等、『健康×観光』を実感してもらえるよう、次期開催に向け準備を図る。										

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
		事業名称	目標値						A/B/C		
健康増進と健康に配慮した取組	2.CO2の排出抑制事業 【開催回数】 ※地球温暖化対策実行計画内における 目標数値の明確化 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) 市のCo2削減目標値の計画(担当課主導)に取組を盛り込み推進していく。 (R元) 同上 【当初事業内容】 ・健康サイクリングを開催し、健康増進を図る。 5/25、6/22、9/21、10/19を予定。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 第2期計画から削除。本来、地球温暖化対策実行計画内にて設定するものであるため、専門委員会の取組みからは外すが、継続して取り組む。	
		目標値	-	-	-	目標数値の明確化	目標数値の明確化	-	-		C
		実績値	-	-	-	未着手	未着手	-	-		-
		達成(評価)(C)	-	-	-	C	C				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 環境対策課主導の地球温暖化対策実行計画内エコ通勤キャンペーンがR3実施予定に変更となったため未実施。目標数値の明確化が課題であるが、市内事業者の通勤をマイカー以外の手段(公共交通や自転車など)に置き換えることが難しく、また効果が目に見えるほど表れないので数値化するのが難しい。								
安全利用を推進する取組	◆サイクリング事業 1-1.交通マナーや交通事故等へのリスクに対する備え レンタサイクル利用者のヘルメット着用率【%】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) レンタサイクル貸出し時のヘルメット着用率を目標値として設定。 (R元) 同上 【当初事業内容】 市内レンタサイクル事業者と調整を図り、貸出時に必ずヘルメットの着用をしていただく仕組みづくりの実施。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 通学、一般すべての自転車利用者のヘルメット着用率100%に向けた取組み方法を自転車活用推進計画で定めて取り組む。現時点では購入補助の拡大を想定しR3年度へ予算要求。	
		目標値	-	-	-	100	100	100	-		C
		実績値	-	-	-	69.33	32.90	51.12	-		-
		達成(評価)(C)	-	-	-	B	C				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 レンタサイクル貸出時にヘルメットの着用してもらう仕組みづくりを実施。(数値はレンタサイクル実施のサイクリングターミナルのいち駅・アクトランド集計) 香南市サイクリングターミナルでは、これまでヘルメットを別料金で貸し出していたが、R元年10月より、レンタサイクルの料金にヘルメット代も組み込み、自転車を借りると必ずヘルメットが付いてくるように改正した。また、従業員によるヘルメット着用の指導も開始した。しかし、香南市サイクリングターミナルのヘルメット着用については、子どもは100%着用であったが、大人の着用率が20%程度と低い現状であった。子供にヘルメットの重要性を伝える大人の意識への付けを図り、日常使用時に着用を促す仕組みづくりに取り組んでいく。								
	1-2.交通マナーや交通事故等へのリスクに対する備え 事故発生箇所や危険箇所の把握及び啓発危険箇所マップの作製 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) マップ作成 【当初事業内容】 ・香南市内の自転車事故発生箇所を確認し、地図を作成する。 ・自転車をレンタルする方や、市内の学校に配布し、啓発を行うとともに道路改善の指標の一つとする。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(-)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 第2期計画からは外すが、自転車活用推進計画内で、警察、交通安全協会、交通安全指導員協議会、学校等に聞き取りながら実施に向けて調整する。	
		目標値	-	-	-	マップ作成	マップ作成	-	-		C
		実績値	-	-	-	未着手	-	-	-		-
		達成(評価)(C)	-	-	-	C	C				
		事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 香南市内の事故発生箇所(危険箇所)を確認し、地図を作成するし、レンタサイクル利用者や、市内の学校等に配布し、啓発を行うこととしていたが、地図作成業者が警察のデータベースを参考にした「香南市の事故発生箇所マップ」を作成し、各学校に配布しているが、未実施。(R2年1月30日/キッズセーフティマップ寄附受取)ただし、「危険が想定される箇所」の掲載はないため、地域の人の声が反映されておらず、今後の啓発や注意にはつながらない。そのため、防災対策課や学校教育課等と連携し、自転車や自動車ユーザーに気を付けてもらえるマップ作製を行っていく。								
	1-3.交通マナーや交通事故等へのリスクに対する備え 安全教室の実施【実施回数(回)】 (H27) - (H28) - (H29) - (H30) - (R元) 安全教室の実施 【当初事業内容】 ・警察の交通安全運動や交通安全教室等と連携した交通安全教室を開催し、市内小・中学校、一般市民を対象に自転車のマナーや交通ルールの向上を推進する。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】 自転車活用推進計画内で調整し、一般住民や市内全学校での交通安全教室を行う手法を確立する。一般向けはサイクリングターミナルを利用した座学も行うことを前提とする。	
		目標値	-	-	-	-	2	2	-		A
実績値		-	-	-	-	2	2	-	-		
達成(評価)(C)		-	-	-	-	A					
事業内容(D・C)		【R元年度の取組内容】 NPO法人高知Cycling project Maze-Cle主催の交通安全教室を2回(5/19・12/14)開催。防災対策課が実施している自転車教室とも今後、連携を取りながら市民に自転車の交通ルールやマナーを知ってもらえる機会を増やしていく。									

数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(※)	第1期達成(達成度合)	備考
-	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	実績値	-	-	-	-	-	-	-	
	達成(評価)	-	-	-	-	-		-	

■取組みの評価(総評)

【R元年度の取組についての総評】

住宅部会は、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略における「まち」の部分を担当し、各分野の担い手となる方々(住民)の住環境に対する施策を進めてきた。
 住環境の整備として、市内に住まわれている方を対象としたリフォーム支援を行い、『生活環境の向上』を図るとともに、市内事業者の活用を促したことで、市内経済の循環へとつなげることができた。
 また、住宅の耐震化事業(木造住宅耐震診断や耐震改修費への補助)についても、周知を継続的に行うことで概ね目標値を達成していることから、安心安全なまちづくりへとつなげることができている。
 空き家対策についても、空き家バンクの登録や老朽住宅等除却事業を実施し、市民が安全に、かつ、安心して暮らせることのできる生活環境と利用可能な空き家は、ニーズに合わせてリフォーム等を行うことで再生し、活用する方法もあることから、移住施策とリンクさせる取組みを進めていき、社会減(転出)抑制と社会増(転入)につなげていく。

戦略の柱	◆取組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値								
住環境の整備	◆住環境の整備									
	1.住宅リフォーム推進事業 香南市住宅リフォーム推進事業費補助金 【利用件数(件)】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	※市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用の20%(上限20万円)を補助。 (H27) - (H28) 補助金交付件数 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上	目標値	-	50	75	75	75	275	A	4月号の広報にあわせ、各家庭に住宅リフォーム補助金募集のチラシを配布する。5月12日から約2週間受付をし、補助金予算額(1,500万円)に達するまで、多くの人に利用してもらえるようPR活動をしていく。
	【当初事業内容】 リフォーム補助金の需要は多く、また上限20万円を利用していない方より「再度利用できないか」との声も多くあったことから、補助金交付要綱の一部を見直し、上限額に至っていない方は再度当補助金を利用できるように拡充。利用推進に向けて広報、HPIにて推進を図る。	実績値	-	67	89	100	98	354		
達成(評価)(C)	-	A	A	A	A	A				
事業内容(D・C)	○補助金額の上限額20万円に達していない方の2回目の申請の受け付けを開始した。(決定者数4件) ○R元年5月13日から5月24日まで受付をし、73件(交付金額:11,384,000円)の交付申請予定者を決定する。 ○予算額に達していないので、順次申請を受付(6月:4件・7月:8件・8月:4件・9月:9件・10月:3件) 取り下げが3件有り、全体で98件・総額交付補助額は15,000,000円。									
市営住宅の整備	◆市営住宅の整備									
	1.市営住宅の生活環境の保全及び公衆衛生の向上事業 【工事件数(件)】	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
	※生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設する。 (H27) 設置件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上	目標値	16	32	30	30	22	130	C	R元年度に設計した22戸の住宅に合併浄化槽や手すり等を設置する工事を実施する。 また、住民から了承を得られる取組みに着手し、第2期計画で示している20件/年の工事実施を行う。
	【当初事業内容】 生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設。	実績値	10	22	14	14	0	60		
達成(評価)(C)	-	B	C	C	C	C				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 当事業は現在住まれている方からの了承を得る必要があることから、居住者との交渉を行ってきたが、了承を得ることに時間を要したことから、R元年度については、年度当初に予定していた市営住宅22戸の合併浄化槽等設置工事の設計までに留まった。									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】	
	事業名称	目標値										
	○具体的な取組(P)	実績値										
住環境の耐震化	◆住宅の耐震化											
	1.住宅耐震診断事業 【補助金利用件数(件)】 ・木造 香南市木造住宅耐震診断事業 ・非木造 香南市非木造住宅耐震診断費補助金 (H27) - (H28) 利用件数 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
		目標値	100	120	120	120	120	580	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報、HPへの掲載 ・自主防災連絡会での周知 ・戸別訪問の実施 ・ふれあい祭りによるブース展示 ・チラシの配布 		
		実績値	113	127	94	83	63	480				
		達成(評価)(C)	A	A	B	B	C					
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・市広報・HPへの掲載・自主防災連絡会での周知・戸別訪問の実施・ふれあい祭りによるブース展示・チラシの配布を実施。 各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。耐震化が一定進んでおり、今後件数はあまり増加しないと見込まれる。										
	2.住宅耐震改修事業 香南市住宅耐震改修工事費等補助金 【設設計・工事数(件)】 ※香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して設計及び改修費用を補助(補助上限額) ・設計1棟あたり 305千円 ・改修1棟あたり 1,000千円 (H27) 改修設計及び改修件数 (H28) 同上(個別目標値を設定) (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
		目標値	-	設計 90 工事 90	設計 90 工事 90	設計 90 工事 90	設計 90 工事 90	設計 360 工事 360	設計B 工事B	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報、HPへの掲載 ・自主防災連絡会での周知 ・戸別訪問の実施 ・ふれあい祭りによるブース展示 ・チラシの配布 		
		実績値	109件	設計 75 工事 70	設計 92 工事 89	設計 79 工事 68	設計 63 工事 57	設計 309 工事 284				
		達成(評価)(C)	-	B B	A B	B B	B B					
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・市広報・HPへの掲載・自主防災連絡会での周知・戸別訪問の実施・ふれあい祭りによるブース展示・チラシの配布を実施。 各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。耐震化が一定進んでおり、今後件数はあまり増加しないと見込まれる。											
3.コンクリートブロック塀耐震対策事業 【利用件数(件)】 香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金 ※避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助(上限205千円) (H27) 利用件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】			
	目標値	-	15	15	18	30	78	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報、HPへの掲載 ・自主防災連絡会での周知 ・チラシの配布 			
	実績値	-	12	14	27	25	78					
	達成(評価)(C)	-	B	B	A	B						
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・市広報、HPへの掲載・自主防災連絡会での周知・チラシの配布を実施。 平成30年6月の大阪府北部地震後に問い合わせが多数あり、コンクリートブロック塀耐震対策の必要性について住民の意識が高まった。引き続き制度の周知・啓発を行う。											
空き家対策	◆空き家対策											
	1.老朽住宅等除却事業 【利用件数(件)】 香南市老朽住宅等除却事業費補助金 ※避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助(補助率80%、上限1,645千円) (H27) 事業開始・補助金利用件数 (H28) 同上 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】		
		目標値	-	20	20	20	40	100	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布 		
		実績値	23	20	20	28	29	120				
達成(評価)(C)		-	B	B	A	B						
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 ・市広報・HPへの掲載・自主防災連絡会での周知・チラシの配布を実施。老朽化した空家の増加・制度の認知度の高まりにより、問い合わせは多くなっている。今後も空家の増加により、問い合わせは多くなると見込まれる。											

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	今後の取組(A) 【R2年度の取組について】
		事業名称	目標値						A/B/C	
○具体的な取組(P)		年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(最終年度)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
空き家対策	2.空き家バンク事業 【登録棟数(軒)(延べ)】 (H27) - (H28) 移住定住促進を目的とした 空き家の有効活用 (H29) 同上 (H30) 同上 (R元) 同上 【当初事業内容】 まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査を継続して行い、空き家の掘り起こしに取り組む。 【R元年度の取組内容】 移住希望者にスムーズな住宅提供が出来るよう、空き家バンク登録物件に係る支援策「空き家改修事業費等補助金」と合わせて、バンク登録の広報(市広報・チラシ)を実施した。 ・新規登録 8件	目標値	-	3	5	20	40	40	A	
		実績値	-	3	18	32	40	40		
		達成(評価)(C)	-	A	A	A	A			
		事業内容(D・C)								
	3-1.空き家改修事業費等補助金 空き家改修事業 【利用件数(件)】 ※空き家改修事業:国県財源措置あり ※空き家修繕及び荷物処分等支援事業 ⇒一部県財源措置あり ※市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。 (H27) - (H28) - (H29) 空き家改修事業 (補助率10/10、上限1,824千円) (H30) 空き家改修事業 (R元) 同上 【当初事業内容】 移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、補助金要綱の一部を見直し、賃貸物件についてはマッチング成立前に補助金の活用ができるよう制度を拡充。補助事業完了後は、空き家バンクに一定期間登録する等の条件を明確に付した空き家活用住宅としていく。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
		目標値	-	-	3	3	3	9	B	
		実績値	-	-	1	2	5	8		
		達成(評価)(C)	-	-	C	B	A			
	事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、補助金要綱の内容の一部を見直し、空き家所有者が契約締結前に補助金の活用ができるように拡充したことや、補助制度についてのチラシを作成し、窓口等での説明時に使用し、周知に努めたこと等により実績値が目標値を上回った。 ・実績 5件								
	3-2.空き家改修事業費等補助金 空き家修繕事業 【利用件数(件)】 ※空き家修繕等支援事業: 一部県財源措置あり ※市の空き家バンクに登録し、貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、有耐震性を前提に空き家の軽微な修繕費(200千円以下で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた量の交換、網戸の設置等)を補助する。 (H27) - (H28) - (H29) - (H30)荷物処分等支援事業 補助率 1/2 県外移住者 上限200千円 県内市外移住者 上限100千円 (R元) 同上 【当初事業内容】 移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、補助金要綱の一部を見直し、賃貸物件についてはマッチング成立前に補助金の活用ができるよう制度を拡充。補助事業完了後は、空き家バンクに一定期間登録する等の条件を明確に付した空き家活用住宅としていく。	年度	H27	H28	H29	H30	R元	第1期(累計)	第1期達成(達成度合)	【令和2年度の取組内容】
		目標値	-	-	-	2	2	4	C	
		実績値	-	-	-	0	1	1		
達成(評価)(C)		-	-	-	C	C				
事業内容(D・C)	【R元年度の取組内容】 移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、補助金要綱の内容の一部を見直し、空き家所有者が契約締結前に補助金の活用ができるように拡充した。 また、補助制度についてのチラシを作成し、窓口等での説明時に使用し、周知に努めた。 空き家改修事業の実績が増えたこと等により、修繕事業の実績が伸びなかったが、今後は住み替え時等の利用促進にも努めていく。 ・実績 1件									